



画面編集ガイド



画面編集ガイド 目次

はじめに.....	- 3 -
サイト完成までの必須作業.....	- 3 -
ステージング環境と本番環境について.....	- 4 -
動的画面と静的画面について.....	- 5 -
画像とCSSについて.....	- 8 -
FTPサーバーのフォルダ構造について.....	- 9 -
JavaScriptファイルは変更禁止です.....	- 11 -
◆補足: 動的画面のブロックについて.....	- 12 -
◆補足: CMSブロック編集画面について.....	- 13 -
1. 必須作業.....	- 15 -
1.1 トップページ作成.....	- 15 -
htmlをサーバーから取得する.....	- 16 -
画像・CSSをサーバーから取得する.....	- 18 -
ローカル環境で画面データを編集する.....	- 19 -
編集したトップページを登録する.....	- 21 -
◆補足: 動的画面中のURLは絶対パスで“/”から.....	- 22 -
◆補足: トップページURLについて.....	- 24 -
1.2 動的画面の作成.....	- 25 -
ヘッダー・フッターについて.....	- 25 -
ヘッダー・フッター画像を差し替える.....	- 26 -
ヘッダー・フッター用htmlを修正する.....	- 27 -
ヘッダー・フッター用CSSを編集する.....	- 29 -
画面タイトル(title)、サイト説明文、キーワードを変更する.....	- 30 -
レジ・会員登録画面の利用規約を編集する.....	- 32 -
1.3 静的画面の作成.....	- 34 -
静的画面のhtml・画像・CSSをサーバーから取得する.....	- 34 -
静的画面を編集・登録する.....	- 35 -
◆補足: 修正を忘れやすい箇所について.....	- 36 -
2. 応用作業.....	- 37 -
2.1 トップページのカスタマイズ.....	- 37 -
ログイン機能を設置する.....	- 37 -
ログイン後・ログアウト後の戻り先を設定する.....	- 39 -
カート表示を設置する.....	- 40 -
人気デザイナー一覧を設置する.....	- 41 -
デザイン選択画面へリンクする.....	- 42 -
途中保存画面へリンクする.....	- 43 -
文字入力画面・写真貼り付け画面へリンクする.....	- 44 -
◆補足: カテゴリコード・カタログコードの確認について.....	- 46 -
2.2 動的画面のカスタマイズ.....	- 48 -
動的画面の編集領域を編集する.....	- 48 -
システム領域のテキストを編集する.....	- 50 -
トラッキングスクリプトを登録する.....	- 51 -
◆補足: ステップガイドの画像について.....	- 53 -
◆補足: オリジナルのジャンル選択リンクの追加について.....	- 55 -
◆補足: 動的画面のカート表示について.....	- 56 -



はじめに

サイト完成までに必要な画面編集の流れと、基本的な知識について解説します。

サイト完成までの必須作業

1 トップページを作成します。

- ・ローカル環境にてトップページのhtml・画像・CSSを作成し、システムに登録します。

2 動的画面のヘッダー・フッター部分を作成します。

- ・動的画面とは、注文過程などの、システムが生成する画面です。
ヘッダー・フッター部分など、特定の箇所がカスタマイズ可能です。

動的画面

▶しきみ的には、トップページも動的画面に含まれます。



3 動的画面の画面タイトルを修正します。

- ・画面htmlのhead領域(<head>〜</head>タグ)を編集し、画面タイトルやキーワードなどの定義を設定します。

4 利用規約を作成します。

- ・レジの最終画面や、新規会員登録画面に表示される、利用規約を作成します。
※一般的には次の静的画面にも利用規約があるので、忘れずに作成します。

5 静的画面を作成します。

- ・静的画面とは、「会社概要」「配送方法」「利用規約」など、トップページ等からリンクされる固定的な画面です。契約者様が作成・登録したhtmlファイルがそのまま表示されます。

静的画面

以上が必須作業になります。

このほか応用作業として、その他の箇所の表示内容や外観を編集することができます。

ステージング環境と本番環境について

ステージング環境
本番環境

契約者様には、「ステージング環境」および「本番環境」という2セットのジグミーシステムが提供されています。画面の編集やマスター登録は、ステージング環境に対して行います。

1. ステージング環境

契約者様がサイトの動作確認やデータ登録用に使用するシステムです。外部に公開される本番環境と同様のサーバー構成になっています。

画面の作成やテンプレートの登録、各種マスターの登録などは、必ずステージング環境に対して行い、動作をテストしてください。本番環境に直接登録してはいけません。

2. 本番環境

外部に公開され、実際に注文者から注文を受け付けるシステムです。

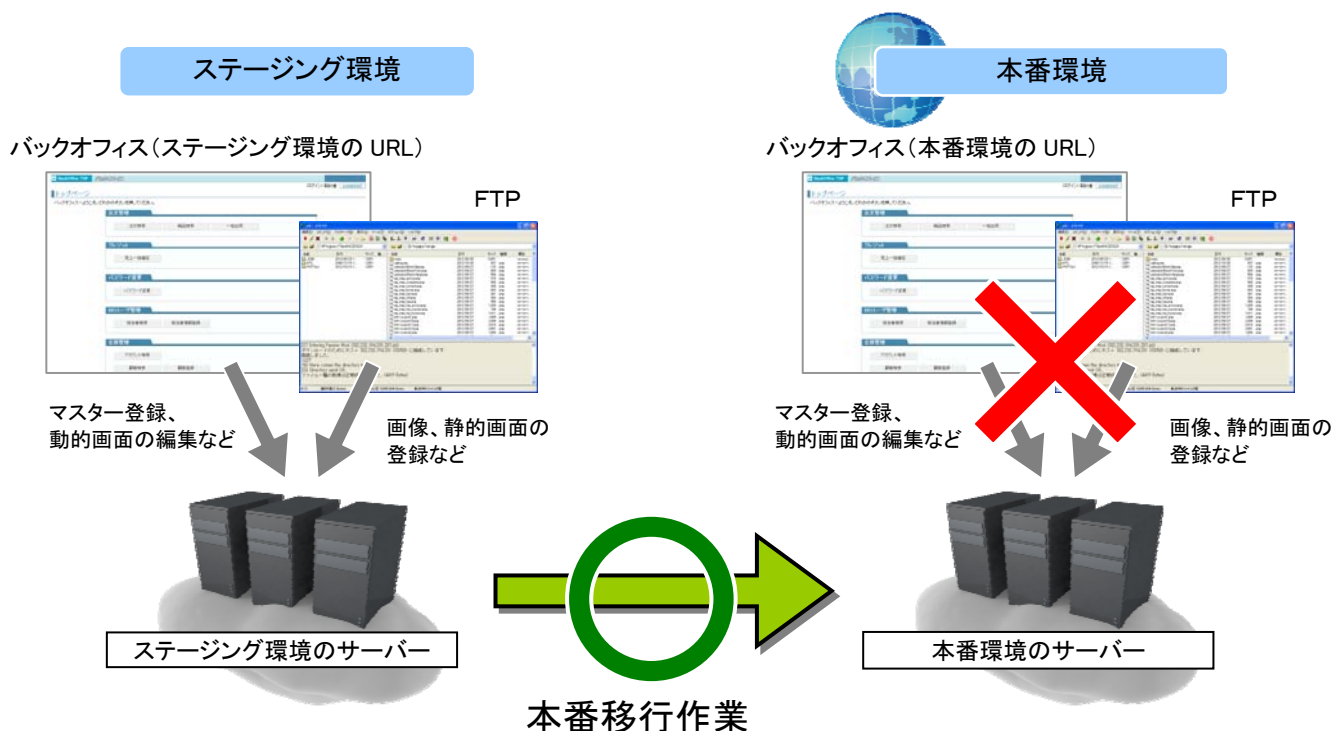
ステージング環境でサイトを完成させたら、そのデータ一式を、「本番移行作業」という手順によって本番環境にコピーしてから公開します。

本番移行作業



●本番環境の画面データやマスターは、決して直接編集しないでください

本番環境のデータを直接編集すると、ステージング環境のデータとの差異が生じ、最悪の場合は二度と注文できなくなることがあります。画面データやマスターの編集は、必ずステージング環境にて行い、動作確認後に「本番移行作業」の手順に従って本番環境にコピーしてください。



当マニュアルでの作業説明は、すべてステージング環境に対してのものです。

本番環境に対して作業しないよう、バックオフィスやFTPを使用する際には、ステージング環境のURLであることを確認してください。

なお本番移行作業については、別の資料にて解説しています。

動的画面と静的画面について

動的画面
静的画面

ジグミーシステムの画面には大きく分けて2つの種類があります。内容をシステムが自動生成する「動的画面」と、契約者様が制作したhtmlがそのまま使われる「静的画面」です。この2種類の画面は、編集方法や編集できる箇所が異なります。

1. 動的画面とは

ジグミーシステムの大半の画面です。デザイン選択、文字入力などの注文画面や、カート・レジなどの画面が相当します。

マスター登録内容や注文者の選択に応じて、画面の内容が変化することから、「動的」と呼ばれます。

(1) 通常の動的画面

画面は大きくヘッダー・システム領域・フッターに分かれています。

①ヘッダー・フッター 契約者様の画像に差し替えが可能です。

②システム領域 システムが自動的に生成するため、変更することができません。

例 デザイン選択画面

▶システム領域中のメッセージの差し替えなど、一部に変更できるブロックがあります。



(2) トップページ(特別な動的画面)

トップページも動的画面に分けられます。ただし特殊な動的画面であり、全体を自由に編集することができます。

例 年賀状トップページ



動的画面では…

OK

OK

ログイン
ボックス

カート
表示

トップページは動的画面なので、システムが内部処理を行う「ログインボックス」「カート表示」も配置することができます。

2. 静的画面とは

静的画面は、ページ全体が1つのhtmlファイルで作られている画面です。内容が変化することはない、常に契約者様が作成された画面がそのまま表示されます。

企業情報・ご利用規約・特定商取引法に関する表示など、サイトの説明書きのページとして主に使われます。必要に応じて、新たな静的画面を追加することも可能です。

例「お支払い方法」画面



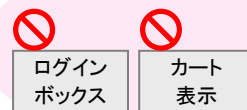
例「特定商取引法に関する表示」画面



全体を自由に書き換えられる

システムが表示内容を生成するわけではないため、ページ全体を自由に作成していただくことができます。ただし、ログインボックスやカート表示のような、動的な要素を配置することはできません。

静的画面では…



静的画面と動的画面の編集方法の違い

静的画面の場合

FTPを使い編集



反映



画面のhtmlをFTPサーバーから取得して編集する

▶ 画像とCSSは、静的画面・動的画面のどちらも、FTPサーバーのファイルを編集します。

▶ 動的画面のすべてのブロックを編集できるわけではありません。

動的画面の場合

バックオフィスのCMS管理で部分的に編集



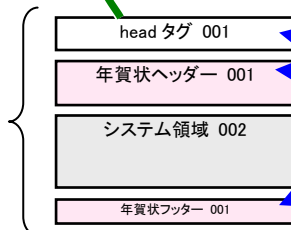
反映

自動生成



htmlの実体は、自動生成のため、直接編集はできない(FTP中に存在しない)

ブロック



画面を構成する「ブロック」を、バックオフィスのCMS管理にて編集する



●動的画面と静的画面の特徴

		静的画面	動的画面
用途		説明書き中心の画面。会社概要、利用規約、特定商取引法の表示、ご注文方法画面など	注文画面全般、カート、レジ、会員登録画面など トップページも動的画面
表示内容		内容は常に同じ	状況によって内容が変わる (マスター登録内容や注文者の操作に応じ、システムが画面を生成)
編集できる箇所		画面全体	ヘッダーなど一部のみ (トップページは画面全体)
ログインボックスの表示		×できない	できる
カート表示の表示		×できない	できる
新しい画面の追加		できる	×できない
HTML	編集箇所	html ファイル	ブロックごとのバラバラなデータ
	編集方法	テキストエディタなど	バックオフィスのCMS管理 (ブロックごとに編集)
	保存場所	FTP サーバー	バックオフィスのCMS管理 (ブロックごとに保存)
画像	編集	可能	可能
	保存場所	FTPサーバー	FTPサーバー
CSS	編集	可能	ユーザーCSSへの追加のみ可
	保存場所	FTPサーバー	FTPサーバー

●具体的な動的画面の一覧は、画面遷移図をご覧ください

動的画面の種類や数は、取り扱い商材の種類によって異なります。

詳しくは、別添資料の「画面遷移図.xlsx」を参照してください。

画像とCSSについて

サイト内で使用されている画像は、FTPサーバー（次ページ参照）から拾い出して、別な画像に差し替えることができます。またCSSを利用したスタイルの設定も可能です。

ただし、画像やCSSに対して不適切な編集を行うと、表示されるべき画像が表示されなくなったり、他の画面のスタイルにまで影響が及んだりします。十分注意してください。



ヘッダー画像・フッター画像は、オープンするサイトに合わせて変更が必要ですが、その他の画像やCSSは、必ずしもすべてを変更する必要はありません。サイト固有の表記に関わる部分のみ優先的に変更してください。

1. 画像の使用されている箇所

画像の使用箇所は画面によって様々です。html中にタグで配置されているものと、CSS中に背景画像として配置されているものがあります。一例は次のようになります。



2. すべての画像はFTPサーバーにあります

▶ 動的画面・静的画面のどちらの画像もFTPサーバーにあります。

すべての画像ファイルは、ご提供したFTPサーバー内にあります。フォルダ構成については「FTPサーバーのフォルダ構成について」<次ページ>を参照してください。

FTPサーバー中の画像ファイルを、同じ名前・同じサイズで上書きすると、実際の画面表示に反映されます。変更の前に、忘れずに元のファイルのバックアップを取ってください。

3. すべてのCSSはFTPサーバーにあります

スタイルの設定・変更のために、CSSを使用していただくことも可能です。

あらかじめ、ユーザー用CSSファイル（契約者用）がFTPサーバーに用意されていますので、スタイルはそのファイルに記述してください。**システムが使用している元のCSSは変更しないでください。**



●システムの使用しているCSSファイルは変更禁止です

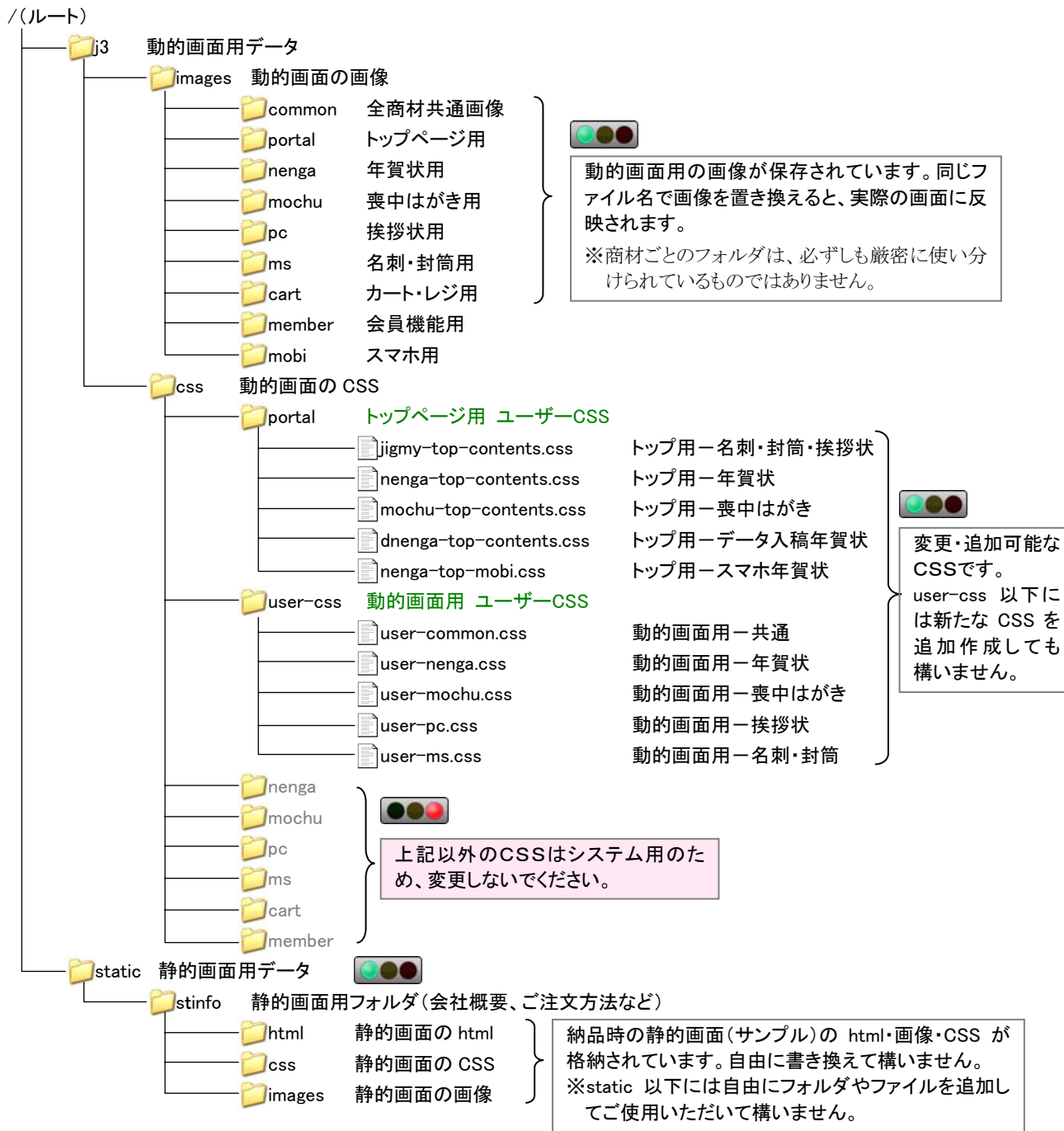
スタイルを設定する際は、システムの使用している元のCSSファイルを編集するのではなく、ユーザー用 CSS ファイルに新たに記入してください。元のCSSファイルは、プログラムの改修やリリースの際に、弊社が弊社内の共通CSSで上書きするため、もし変更されていますと内容が失われてしまいます。

FTPサーバーのフォルダ構造について

ジグミーシステムの基本的なデータは、FTPサーバー中のフォルダに格納されています。

動的画面・静的画面でファイルの場所が異なります。

これ以外にもフォルダはありますが、画面の編集には使用しないので、変更しないでください。



重要

●ファイルを編集するときは、毎回FTPサーバーから最新ファイルを取得してください

ファイルを編集するときは、そのつどサーバーから現状のファイルを取得してください。ローカル環境にある古いファイルをもとに編集しないでください。以前に更新したサーバーの内容が、古いファイルを元にした内容に先祖返りしてしまうことがあります。

●ファイルのバックアップを取ってください

契約者様で制作された各種ファイルは、契約者様ご自身でのバックアップ・管理をお願いしております。FTPサーバーからコピーしたファイルは、編集の前に別の場所やディスクにもコピーしておいてください。



●システムCSSとユーザーCSSの対応

2012年度の運用までは、契約者様にシステムCSSを直接変更していただくことがありましたが、2013年度よりシステムCSSの変更は禁止となりました。

従来、システムCSSに対して契約者様が行っていた変更は、下表のユーザーCSSに移行されておりますので、今後の変更はユーザーCSS側にて行ってください。

複数のシステムCSSに行われていた変更点が、ひとつのユーザーCSSに統合されているものがあります。

	システムCSS(変更禁止) 	対応するユーザーCSS 
共通	/j3/css/common.css	/j3/css/user-css/user-common.css
	/j3/css/header-footer.css	
カート	/j3/css/cart/cart.css	
	/j3/css/cart/include-area.css	
会員機能	/j3/css/member/member.css	
問い合わせフォーム	/j3/css/inquiry/inquiry.css	
年賀状	/j3/css/nenga/Copy of nenga.css	/j3/css/user-css/user-nenga.css
	/j3/css/nenga/header-footer.css	
	/j3/css/nenga/include-area.css	
	/j3/css/nenga/list-b.css	
	/j3/css/nenga/nenga.css	
	/j3/css/nenga/photoEdit.css	
喪中はがき	/j3/css/mochu/header-footer.css	/j3/css/user-css/user-mochu.css
	/j3/css/mochu/include-area.css	
	/j3/css/mochu/list-b.css	
	/j3/css/mochu/mochu.css	
挨拶状	/j3/css/pc/include-area.css	/j3/css/user-css/user-pc.css
	/j3/css/pc/list-b.css	
	/j3/css/pc/pc.css	
	/j3/css/pc/pc0510.css	
名刺・封筒	/j3/css/ms/ev.css	/j3/css/user-css/user-ms.css
	/j3/css/ms/include-area.css	
	/j3/css/ms/list-b.css	
	/j3/css/ms/ms.css	

JavaScriptファイルは変更禁止です

ジグミーシステムは JavaScript を使用しています。**システムの納入時に初めから登録されている JavaScript ファイルは、変更しないでください。**

なお、契約様が新たな JavaScript を用意して使用することは可能です。ただし、システムが使用している JavaScript に干渉して、動作に異常が起きる可能性もありますので、契約様の責任で動作を確認のうえ使用してください。弊社では、契約様が追加する JavaScript がもたらす結果について、予測することはできませんのでご了承ください。

補足: 動的画面のブロックについて

ブロック

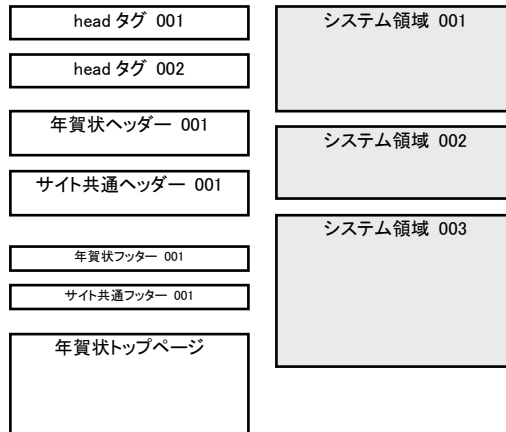
動的画面のhtmlデータは、「ブロック」と呼ばれるパーツに分かれて、バックオフィスのCMS管理機能にて管理されています。ブロックを編集すると、動的画面の表示に反映されます。

●ブロックとは

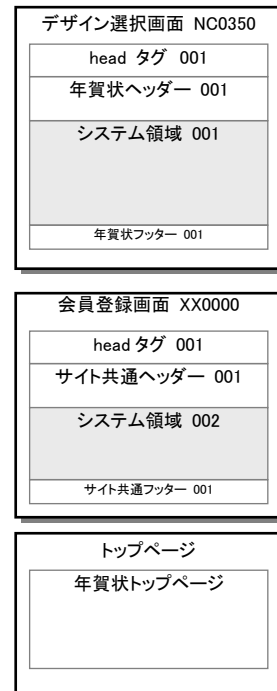
ブロックとは動的画面の材料です。ヘッダー用・システム領域用など複数の種類があり、これらが組み合わされて動的画面が作られています。

個別のブロックはhtmlデータから成っています。ブロックのhtmlデータを編集することにより、そのブロックが関係している動的画面の内容が変わります。

いろいろなブロック

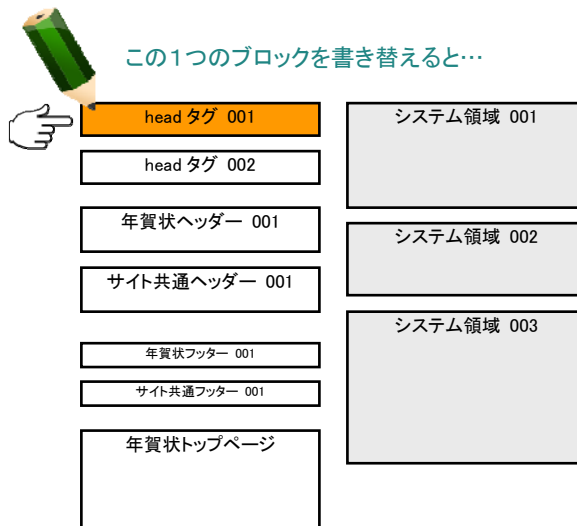


ブロックの組み合わせで できた動的画面

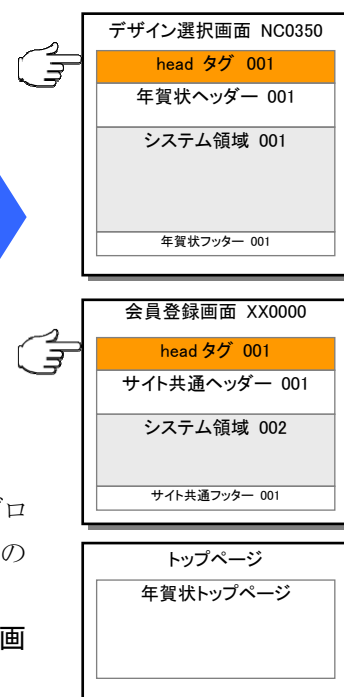


ひとつのブロックは、複数の画面で共用されていることがあります。この図で、「head タグ 001」というブロックを編集すると、結果的に「デザイン選択画面」「会員登録画面」の2つの画面が変わります。

この1つのブロックを書き替えると…



同じブロックが使われている画面がすべて変わる



動的画面の内容を変更するには、このように該当するブロックを編集します。編集するブロックを間違えると、複数の画面に影響が及ぶことがあります。

ブロックの編集は、バックオフィスの「CMSブロック編集画面」にて行います(次ページ参照)。

補足:CMSブロック編集画面について

CMSブロック
編集画面



動的画面のブロックを編集するには、バックオフィスのCMSブロック編集画面を使用します。
当マニュアルではそのつど解説されていますが、基本的な操作方はひとつです。

●権限について

バックオフィスのCMS管理機能を使用するには、**管理者・契約者・デザイナー**のいずれかの権限が必要です。権限については、「運用ガイド3」を参照してください。

●タイムアウトについて

バックオフィスは、不正アクセスの防止等のため、約30分間更新操作がないと、タイムアウトするようになっていきますのでご注意ください。

1. 編集したいブロックの名前を調べます。

ブロックには内部的な名前が付けられています。あらかじめ、次の別添資料を参照して、編集したいブロックの名前を調べておきます。

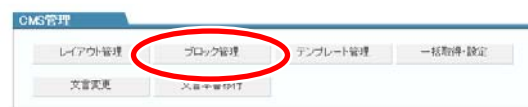
①「サイトデザイン編集領域について(画面マップ).xlsx」

ヘッダー、フッター、htmlのHEAD領域など、動的画面で編集可能なブロック名について記載されています。「画面一覧」シートにブロック名の一覧があります。

②「画面遷移図.xlsx」

サイト内のすべての動的画面のサンプル画と、画面ごとに特別に用意されている編集領域の場所が図示されています。

2. ステージング環境のバックオフィスにログインし、「CMS管理」の[ブロック管理]を押します。



3. CMSブロック管理画面が表示されます。

登録されているブロックの一覧が表示されますが、数が非常に多いため、編集したいブロックの名前を入力したり、カテゴリを選択したりして、一覧を絞り込みます。

① 編集したいブロック名を入力します。
長い場合は全部を入力できませんが、一部だけでOKです。

「カテゴリ:」を選択して、おおまかに絞り込むことも可能です。

1903件のブロックが該当しました。

カテゴリ	名称	ファイル	概要	Ver
カート	Cart_Comp_Blank	front/common/blank.ftl	ダミー(空欄)	0
カート	Cart_ca0100_BodyAttention1	cart/ca/ca0100_body_attention_1.ftl	カート画面の注意書きエリア1情報	0
カート	Cart_ca0100_BodyAttention2	cart/ca/ca0100_body_attention_2.ftl	カート画面の注意書きエリア2情報	0
カート	Cart_ca0100_BodyButton	cart/ca/ca0100_body_button.ftl	カート画面のボタン情報	14
カート	Cart_ca0100_BodyPrice	cart/ca/ca0100_body_price.ftl	カート画面の代金明細情報	0
カート	Cart_ca0100_BodyProduct	cart/ca/ca0100_body_product.ftl	カート画面の商品内容情報	0
カート	Cart_ca0100_BodyRecom	cart/ca/ca0100_body_recom.ftl	カート画面のおすすめ商品情報	0

② [検索実行]を押します。

4. 検索されたブロックの一覧から、編集したいブロックの名称を選択します。

例として[年賀状トップページ]を選択します。

66件のブロックが該当しました。

カテゴリ	名称	ファイル	概要	Ver
サイトトップページ	年賀状スマートフォントップページ	front/portal/nenga_mobi_top.html	フロント年賀状スマートフォントップページ	0
サイトトップページ	年賀状スマートフォントップページ代理店用1	front/portal/nenga_mobi_top_shop1.html	フロント年賀状スマートフォントップページ代理店用	0
サイトトップページ	年賀状スマートフォントップページ代理店用2	front/portal/nenga_mobi_top_shop2.html	フロント年賀状スマートフォントップページ代理店用	0
サイトトップページ	年賀状スマートフォントップページ代理店用3	front/portal/nenga_mobi_top_shop3.html	フロント年賀状スマートフォントップページ代理店用	0
サイトトップページ	年賀状スマートフォントップページ代理店用4	front/portal/nenga_mobi_top_shop4.html	フロント年賀状スマートフォントップページ代理店用	0
サイトトップページ	年賀状トップページ	front/portal/nenga_top.html	フロント年賀状トップページ	0
サイトトップページ	年賀状トップページ代理店用1	front/portal/nenga_top_shop1.html	フロント年賀状トップページ代理店用	0
サイトトップページ	年賀状トップページ代理店用2	front/portal/nenga_top_shop2.html	フロント年賀状トップページ代理店用	0
サイトトップページ	年賀状トップページ代理店用3	front/portal/nenga_top_shop3.html	フロント年賀状トップページ代理店用	0

41件〜60件 >> 3 / 4 ページへ

ブロック新規作成

検索数が多いときは[>>]を押し、次のページに切り替えて探してください。

5. 選択したブロックの、CMSブロック編集画面が表示されます。

内容の確認・編集が可能です。

①このブロックの html データが表示されます。

内容をドラッグし、コピーしてテキストエディタ等に貼り付け、ローカル環境に html ファイルとして保存・編集することができます。この場で直接変更することもできます。

▶html データ以外の場所は変更しないでください。ブロックと画面の対応ができなくなり、表示されなくなります。

CMSブロック編集

CMSブロックを編集できます。

ブロック名: 年賀状トップページ
カテゴリ: サイトトップページ
バージョン: 0

```
<?assign jigsaw=JspTaglib["/META-INF/jigsaw-tags.tld"] />
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Strict//EN" "http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-strict.dtd">
<html xml:lang="ja" xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8" />
<meta http-equiv="Content-Script-Type" content="text/javascript" />

<meta name="keywords" content="年賀状" />
<meta name="description" content="年賀状印刷のことなら当ショップにお任せください。年賀状オンラインショッピング。" />
<title>年賀状印刷のことなら当ショップにお任せください。年賀状オンラインショッピング。</title>

<link rel="stylesheet" type="text/css" href="/j3/css/portal/nenga-top-contents.css" />

<!--[if lte IE 7]>
<link href="/j3/css/ie6_7.css" rel="stylesheet" type="text/css" />
<![endif]>

</head>
<body>
<!-- ▼ヘッダー ここから -->
<!-- ▼ヘッダー上部 ここから -->
<div class="headerContents clearfix">
<a href="/"/></a>

ブロック名: 年賀状トップページ
ブロック名を変更すると、参照するレイアウトが存在する場合、表示できなくなります
カテゴリ: サイトトップページ
概要: フロント年賀状トップページ
[更新]
```

Stack	Stackキー	Stack値	スコープ	編集	削除
新規作成					

制約	制約名	制約値	反転	編集	削除
新規作成					

このブロックを参照しているレイアウト

カテゴリ	レイアウト名	Result	URL	テンプレート	概要
サイトトップページ	年賀状トップページ	_cms_portal_managed.0075000	/portal/nenga	カラムなし	年賀状トップページ

< ブロック検索へ戻る

②[更新]を押すと、内容が更新されます。

更新しないとき(キャンセルするとき)は、画面下の[<ブロック検索へ戻る]を押して、前の画面に戻ってください。

1

必須作業

サイトのオープンにあたって必要な、最低限の画面編集について解説します。

1.1 トップページ作成

トップページは全面を編集できる特殊な動的画面です。サイト全体のトップページと、それぞれの商材別の商材トップがあります。年賀状トップは商材トップのひとつです。

サイトトップ



商材トップの例

トップページ

年賀状トップ



封筒トップ



挨拶状トップ



喪中トップ



データ入稿年賀状トップ



スマホ用年賀状トップ



年賀状専門サイトのように商材がひとつの場合は、商材トップ(年賀状トップ)がそのままサイトトップとして使用されています。

トップページのhtmlは、バックオフィスのCMSブロック編集機能で編集することができます。画像やCSSは、FTPサーバーから直接取得します。

htmlをサーバーから取得する

トップページ・動的画面のhtmlデータは、バックオフィスのCMS管理機能で確認・編集することができます。ここでは、登録されているトップページのhtmlデータを、テキストファイルにコピーしてローカル環境で編集する方法について解説します。



●権限について

バックオフィスのCMS管理機能を使用するには、**管理者・契約者・デザイナー**のいずれかの権限が必要です。権限については、「運用ガイド3」を参照してください。

●タイムアウトについて

バックオフィスは、不正アクセスの防止等のため、約30分間更新操作がないと、タイムアウトするようになっていきますのでご注意ください。

1. ステージング環境のバックオフィスにログインし、「CMS管理」の[ブロック管理]を押します。



2. CMSブロック管理画面が表示されます。

ブロック

トップページをはじめ、動的画面の元になる各種のhtmlデータは、部分ごとの「ブロック」に分かれて登録されています。CMSブロック管理画面では、登録されているブロックを検索し、編集したいものを選択することができます。

ブロックの種類が多いので、カテゴリを選択して検索します。

- ①カテゴリ名として[サイトトップページ]を選択します。

▶ブロック名を直接入力して検索しても構いません。



- ②[検索実行]を押します。

3. 検索されたブロックの一覧から、編集したいトップページの名称を選択します。

ここでは[年賀状トップページ]を選択します。



[年賀状トップページ]が表示されていないときは[>>]を押し、次のページに切り替えて探してください。

4. CMSブロック編集画面が表示されるので、入力されているhtmlデータをコピーします。

トップページの場合、画面全体で1ブロックとなっており、ページ全体のhtmlをこの画面で確認・編集することができます。

このブロック(トップページの場合、1ページ全体)のhtmlデータが表示されます。

内容をドラッグし、コピーしてテキストエディタ等に貼り付け、ローカル環境にhtmlファイルとして保存してください。

▶ htmlデータを参照・コピーするだけのときは、各所の入力欄を変更したり、[更新]を押したりしないでください。

CMSブロック編集

CMSブロックを編集できます。

ブロック名: 年賀状トップページ
カテゴリ: サイトトップページ
バージョン: 0

```
<#assign jigsaw=JspTaglibs["/META-INF/jigsaw-tags.tld"] />
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Strict//EN" "http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-strict.dtd">
<html xml:lang="ja" xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8" />
<meta http-equiv="Content-Script-Type" content="text/javascript" />

<meta name="keywords" content="年賀状" />
<meta name="description" content="年賀状印刷のことなら当ショップにお任せください。年賀状オンラインショッピング。" />
<title>年賀状印刷のことなら当ショップにお任せください。年賀状オンラインショッピング。</title>

<link rel="stylesheet" type="text/css" href="/j3/css/portal/nenga-top-contents.css" />

<!--[if lte IE 7]>
<link href="/j3/css/ie6_7.css" rel="stylesheet" type="text/css" />
<![endif]-->

</head>
<body>
<!-- ▼ヘッダー ここから -->
<!-- ▼ヘッダー上端 ここから -->
<div class="headerContents clearfix">
<a href="/"></a>

</div>
</body>
</html>
```

ブロック名

カテゴリ

概要

Stack					
Stackキー	Stack値	スコープ	編集	削除	
新規作成					
制約					
制約種別	制約値	反転	編集	削除	
新規作成					
このブロックを参照しているレイアウト					
カテゴリ	レイアウト名	Result	URL	テンプレート	概要
サイトトップページ	年賀状トップページ	_cms_portal_managed.0075000	/portal/nenga	カラムなし	年賀状トップページ

5. コピーしたら、[<ブロック検索へ戻る]を押し、元の画面に戻ります。

続いて、コピーしたhtmlデータを参照して必要な画像ファイル・CSSファイルを調べ、次ページの手順でFTPサーバーから取得してください。

画像・CSSをサーバーから取得する

トップページで使用されている画像ファイルやCSSは、FTPサーバーに格納されています。トップページのhtmlやCSS内を調べて、必要な画像をFTPからローカル環境に取得してください。

1. 取得したhtmlデータを調べて、必要な画像とCSSを確認します。

前ページで取得したトップページ用htmlを調べ、タグ中で使用されている画像や、<link>タグ中で使用されているCSSの場所を確認してください。

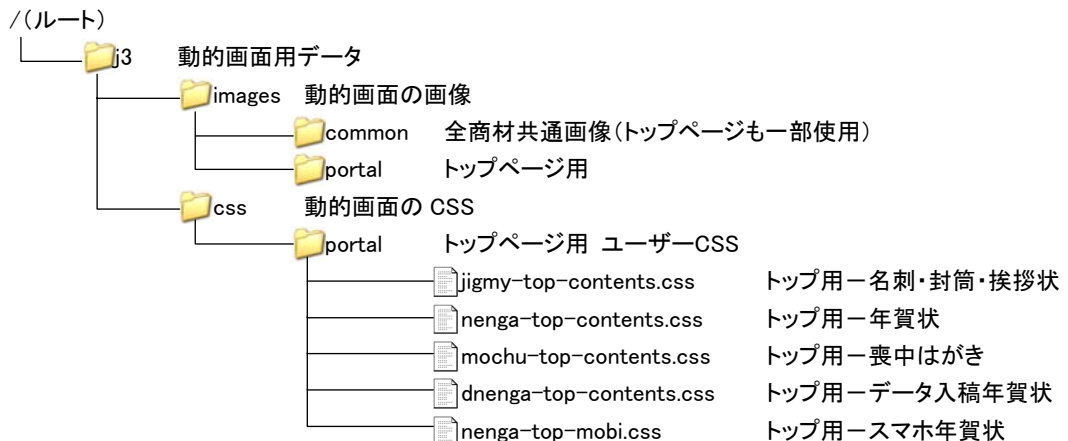
2. 画像とCSSをステージング環境のFTPサーバーから取得します。

必要な画像とCSSをステージング環境のFTPサーバーより取得し、ローカル環境にコピーしてください。

通常、トップページで使用されている画像は次の場所にあります。

トップページ用画像	/j3/images/common /j3/images/portal
トップページ用ユーザーCSS	/j3/css/portal

●画像・CSSのフォルダ構成



取得した画像・CSSは、元のフォルダ階層を維持したままローカル環境に置き、先に取得したhtmlと一緒に編集して、画面データを作成してください。詳しくは次ページを参照してください。

ローカル環境で画面データを編集する

トップページ(動的画面)のhtmlと、画像・CSSをローカル環境に取得したら、次の要領で画面データを作成・編集してください。



●動的画面の表示内容は、サーバーに登録するまで完全には確認できません

動的画面の場合、htmlファイルの場所が定まっていないため、ローカル環境での作業中は画像やCSSを完全に参照できないことがあります。最終的な表示結果は、実際にステージング環境にデータを登録してから、ステージング環境のサイトを確認してください。

1. htmlを作成・編集してください。

トップページの場合、比較的自由に作成していただくことができますが、動的画面にはシステムの制約もありますので次の点に注意してください。

(1) 動的画面html仕様

- ・画面の幅 950 ピクセル
- ・データ形式 xhtml1.0 strict
- ・文字コード UTF-8 (BOM なし・UTF-8N)

▶ データ形式はそれほど厳密でなくても、対象ブラウザで意図したとおりに表示されていれば問題ありません。



参考までに、通常の動的画面の先頭部は次のように生成されます。

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Strict//EN" "http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-strict.dtd">
<html xml:lang="ja" xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8">
```

(2) 配置場所とリンクURL

- ・作成中、htmlファイルを置く場所は特に定めていません。下記のように、html内で指定するURLは必ず絶対パスで記述する点のみご注意ください。
- ・html中に記載するURLは、必ずサーバーのルートの「/」から始まる絶対パスで記述し、相対パスは使用しないでください。動的画面のhtml生成場所はローカル環境とは違うため、相対パスを使用するとサーバー上で正しく動作しなくなります。

- /j3/images/portal/nenga/header.img /から始まる絶対パスになっている
- ✗ ../images/portal/nenga/header.img 現在の html からの相対パスになっている

詳しくは「補足: 動的画面中のURLは絶対パスで“/”から」<P.22>を参照してください。

2. 画像・CSSを作成・編集してください。

(1) 画像の注意点

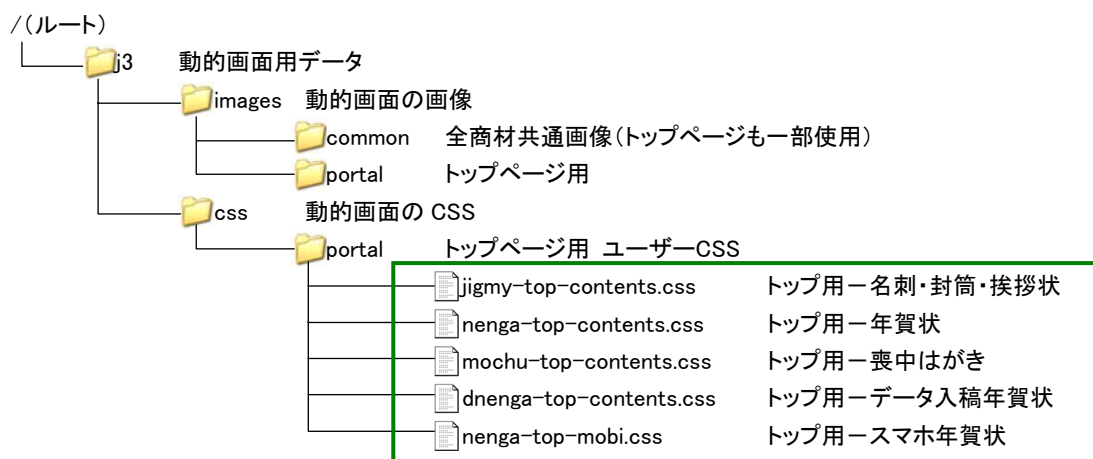
- ・画像を単純に置き換えるときは、ファイル名と縦横サイズを元のファイルと同じにしておけば、FTPサーバーに新しい画像を登録するだけで画面を更新できます。ファイル名やサイズを変更すると、対応するhtmlやCSSを変更する必要があります。
- ・画像はhtml中のタグで指定されるものだけではなく、CSS中の background プロパティ等で指定されているものもあります。更新の際にはCSSも調べてください。
- ・出荷時の画像以外に、新たな画像を作成しても構いません。

/j3/images/portal 以下の任意のフォルダに保存しても構いませんし、それ以下に新たなフォルダを作成して保存しても構いません。

(2) CSSの注意点

- ・トップページ用のユーザーCSS以外は、編集しないでください。

納品時のトップページに使用されている下記の緑枠内のCSSは、すべてユーザーCSSなので、このまま編集ができます。



なお、新たなCSSを同じフォルダに追加して使用していただくことは可能です。
契約者様によっては、これら以外のユーザーCSSも存在します。

ローカル環境でトップページの画面が完成したら、次ページ以降の手順で、html・画像・CSSを所定の場所に登録し、表示が正しいかどうかを確認します。

編集したトップページを登録する

ローカル環境でトップページのデータ(html、画像、CSS)を作成したら、CMSブロック編集画面とFTPを使用して、ステージング環境のそれぞれの場所に登録します。これでステージング環境のトップページが更新され、実際の表示を確認することができます。

1. htmlデータをCMSブロック編集画面で登録します。

「htmlをサーバーから取得する」<P.16>を参照し、トップページ用のCMSブロック編集画面を表示します。

①編集エリアに、このブロックのhtmlが表示されます。

ローカル環境で編集したhtmlデータをコピーして、この編集エリアに貼り付けて置き換えます。

▶「ブロック名」は変更しないでください。

CMSブロック編集

CMSブロックを編集できます。

ブロック名: 年賀状トップページ
カテゴリ: サイトトップページ
バージョン: 0

```
<#assign jigsaw=JspTaglibs["/META-INF/jigsaw-tags.tld"] />
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Strict//EN" "http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-strict.dtd">
<html xml:lang="ja" xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8" />
<meta http-equiv="Content-Script-Type" content="text/javascript" />

<meta name="keywords" content="年賀状" />
<meta name="description" content="年賀状印刷のことなら当ショップにお任せください。年賀状オンラインショッピング。" />
<title>年賀状印刷のことなら当ショップにお任せください。年賀状オンラインショッピング。</title>

<link rel="stylesheet" type="text/css" href="/j3/css/portal/nenga-top-contents.css" />

<!--[if lte IE 7]>
<link href="/j3/css/ie6_7.css" rel="stylesheet" type="text/css" />
<![endif]>-->

</head>
<body>
<!-- ▼ヘッダー ここから -->
<!-- ▼ヘッダー上部 ここから -->
<div class="headerContents clearfix">
<a href="/"></a>

</div>
</body>
</html>
```

ブロック名
ブロック名を変更すると、参照するレイアウトが存在する場合、表示できなくなります
カテゴリ
概要

更新

Stack

Stackキー	Stack値	スコープ	編集	削除
新規作成				

制約

制約種別	制約値	反転	編集	削除
新規作成				

このブロックを参照しているレイアウト

カテゴリ	レイアウト名	Result	URL	テンプレート	概要
サイトトップページ	年賀状トップページ	_cms_portal_managed.0075000	/portal/nenga	カラムなし	年賀状トップページ

<ブロック検索へ戻る

②[更新]を押すと、ステージング環境に反映されます。

反映させないときや、ただ内容を確認しただけの場合は、そのまま最下部の[<ブロック検索へ戻る]を押して、前の画面に戻ってください。

2. 画像・CSSをFTPサーバーに登録します。

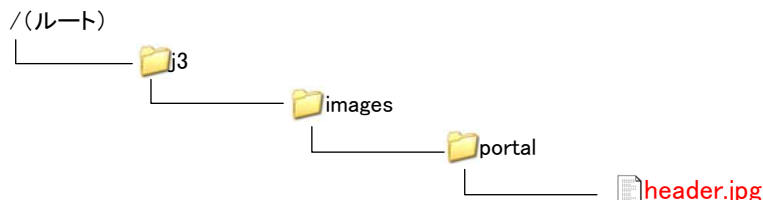
「画像・CSSをサーバーから取得する」<P.18>を参照し、元のフォルダを確認して、作成したファイルをステージング環境のFTPサーバーに保存してください。

補足: 動的画面中のURLは絶対パスで“/”から

動的画面を作業用コンピュータで確認する際には、画像やリンク先のURL指定に相対パスを使っても構いません。しかし、最後にCMS管理機能で登録する前には、html中のすべてのリンクがサーバーのルート「/」から始まる絶対パスになっていることを確認してください。

1. 実URLとサーバー内のパス

①FTPサーバーの、動的画面のフォルダに登録された画像ファイルを考えます。



この画像ファイル「header.jpg」を、動的画面のhtmlのタグからリンクするときは、サーバーのルート(/)から始まる絶対パスで記述します。

```

```

この場合、実際にブラウザからアクセスできるURLは、ドメイン名を「www.jigmy.com」とすると、次のようになります。

```
http://www.jigmy.com/j3/images/portal/header.jpg
```

→ サーバー内のルート(/)からの絶対パス

②このように、html内に記述されるすべてのリンクは、ルート(/)から始めてください。

例) htmlのHEAD領域内にある、使用するCSSファイルへのリンク

```
<link href="/j3/css/portal/nenga-top-contents.css" ... />
```

例) html内の、他のページへのリンク

```
<a href="/static/stinfo/html/cm007.html">お問い合わせ</a>
```



●CSS中から画像ファイルを指定する場合は、相対パスで構いません

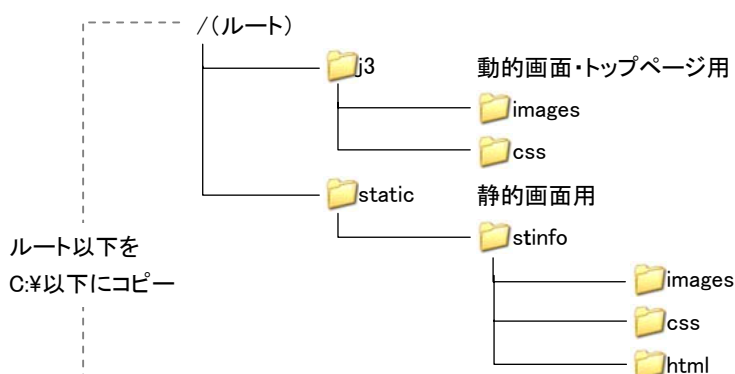
動的html中のURLに相対パスを使つてはいけない理由は、動的htmlの生成場所が、ローカルのhtmlファイルの制作時と、サーバーでの実行時では変わってしまうためです。

一方htmlと違い、images フォルダと css フォルダの場所は決まっているので、両者の位置関係は変わりません。そのため、CSS中から images フォルダ内の画像を相対パスで参照しても、問題はありません。

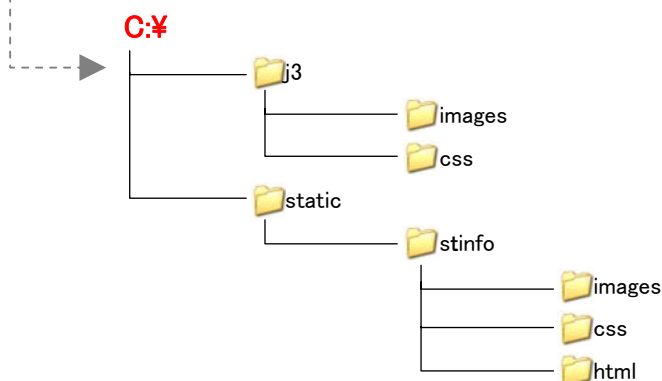
2. ローカルの作業用コンピュータで画面データを作成するとき

表示の確認に Internet Explorer を使用するときは、FTP中のファイルをカレントドライブのルートディレクトリ(C:¥)以下に配置して作業すると便利です。

●FTP中のフォルダ構成



●作業用コンピュータのフォルダ構成



こうすると、たとえばsrc="/j3/images/portal...>というルート(/)からの絶対パスの記述が、ブラウザでは「C:¥j3¥images¥portal...」と解釈され、そのまま表示・確認できます。



注意

Firefox の場合、ローカルの「C:¥」が「/」とはみなされず、そのまま表示することはできません。html 中のリンク先の記述を「/」からではなく、実際にファイルを配置したフォルダからの記述に変更し、ページが完成したら再び「/」に置換する必要があります。



補足

●トップページへの内部リンクは「/」で

トップページのURLは、ドメインのルート(/)になります。

ドメイン名を「www.jigmy.com」とすると、次のようになります。

<https://www.jigmy.com/>

このため、サイト内のページからトップページへリンクするには、<a href="/ " ~ のように、ルート(/)へのリンクとしてください。

詳しくは次ページを参照してください。

補足:トップページのURLについて

以下の例ではすべて、ドメインを「https://www.jigmy.com」として解説しています。実際に利用されるドメインに合わせて読み換えてください。

●各種トップページ URL一覧

画面		URL ※ドメインを www.jigmy.com とした例です	備考
サイトトップ ※補足参照	実体	https://www.jigmy.com/	
	使用例	トップページへ	
年賀状トップ	通称	https://www.jigmy.com/nenga/	
	実体	https://www.jigmy.com/portal/nenga	末尾/なし
	使用例	年賀状トップ	
喪中トップ	通称	https://www.jigmy.com/mochu/	
	実体	https://www.jigmy.com/portal/mochu	末尾/なし
	使用例	喪中トップ	
データ入稿年賀状トップ	実体	https://www.jigmy.com/portal/dnenga	末尾/なし
	使用例	データ入稿	
スマホ用年賀状 トップ	通称	https://www.jigmy.com/m/	
	実体	https://www.jigmy.com/m	末尾/なし
	使用例	スマホページ	
挨拶状トップ	通称	https://www.jigmy.com/postcard/	
	実体	https://www.jigmy.com/portal/postcard	末尾/なし
	使用例	挨拶状トップ	
名刺トップ	通称	https://www.jigmy.com/meishi/	
	実体	https://www.jigmy.com/portal/meishi	末尾/なし
	使用例	名刺トップ	
封筒トップ	通称	https://www.jigmy.com/futo/	
	実体	https://www.jigmy.com/portal/futo	末尾/なし
	使用例	封筒トップ	

注:「実体」「通称」の2つがある場合、どちらを使用しても構いません。「通称」は旧バージョン(ジグミー2)の記述形式と共通です。



補足

▶この設定は契約社様によって異なることがあります。

●サイトトップの飛び先は、ショップによって異なります

複数の商材のあるサイトの場合、年賀状トップ・名刺トップ等の商材トップとは別に全体のサイトトップを持ちますが、商材がひとつの場合は商材トップ＝サイトトップの働きになります。たとえば年賀状専門サイトの場合、サイトトップと年賀状トップは同じ意味になり、サイトトップと同じURL指定(～)で年賀状トップが表示されます。

●httpsを基本としてください

URLは https://から開始されますが、http://でアクセスすることも可能です。ただし、その場合は https://にリダイレクトされます。外部に公表するURLは、「https://」で始めるようにしてください。



重要

●ステージング環境と本番環境では URL が異なります

サイト中の他のページから各トップにリンクを張るときは、上表のように、サイトトップを示す「/」から始めてください。「https://www.jigmy.com/」のようにドメインを含むURLから始めてリンクを記述すると、本番環境ではドメイン名が変わるため、作動しなくなってしまいます。

1.2 動的画面の作成

動的画面（本節ではトップページを除きます）は、注文工程画面やカートなど、ジグミーシステムの大半を構成する画面です。動的画面で編集が必須の場所は、ヘッダー・フッター部です。

ヘッダー・フッターについて

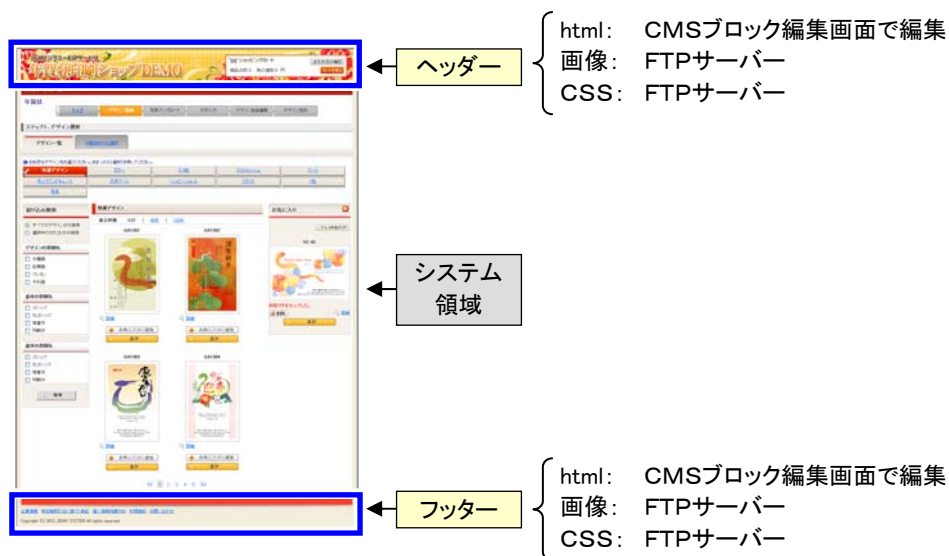
ブロック

動的画面は複数の領域に分かれており、htmlも内部で複数のブロックに分かれています。領域には編集可能な箇所と不可能な箇所がありますが、ヘッダー・フッターは編集可能です。

1. 動的画面のヘッダー・フッターの構造

ヘッダーとフッターはそれぞれ別のブロックになっています。画像とCSSはFTPサーバーにあるので、FTPサーバーの画像を差し替えれば変更ができます。

ヘッダー
システム領域
フッター



まずはFTPサーバーからヘッダー・フッター用の画像を取得して差し替え、それ以上の変更が必要なときにhtmlやCSSを変更するようにしてください。

2. ヘッダー・フッターhtmlの種類

CMS管理機能で編集するヘッダーのhtmlは6種類、フッターのhtmlは5種類のブロックが用意されており、それぞれ別の内容にすることができます。

▶ サイト共通ヘッダーには、名刺・封筒の注文工程画面も含まれます。

ヘッダーhtml ブロック名	フッターhtml ブロック名
サイト共通ヘッダー	サイト共通フッター
カートヘッダー	カートフッター
お問い合わせ共通ヘッダー	
年賀状ヘッダー	年賀状フッター
喪中はがきヘッダー	喪中はがきフッター
Front_Popup_Header ※ポップアップ用	Front_Popup_Footer ※ポップアップ用

どのヘッダー・フッターのブロックがどの画面に適用されるかは、別添資料の「サイトデザイン編集領域について(画面マップ).xlsx」を参照してください。

多くの場合、ヘッダー・フッターの**画像**は場所によらず共用されているので、htmlを変更せずとも画像ファイル自体を差し替えるだけで、ほとんどの箇所のヘッダー・フッターが更新されます。画像の差し替えだけでは変更できない部分は、htmlやCSSも更新します。

ヘッダー・フッター画像を差し替える

ヘッダー・フッターの画像はFTPサーバーに存在します。画像ファイルを置き換えれば、画面表示に反映されます。

1. 差し替えたい画像のパス・ファイル名を確認します。

▶ファイルの情報の調べ方は、ブラウザによって異なります。

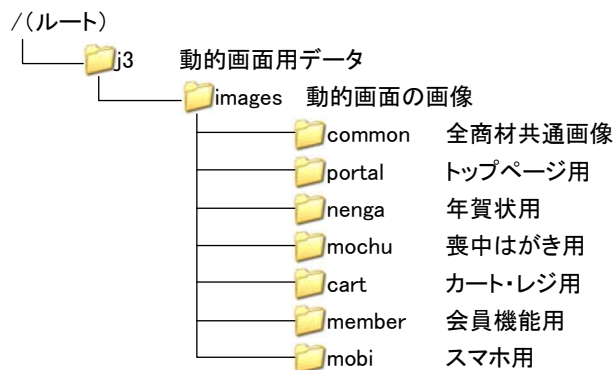
ヘッダー・フッターを差し替えたい画面をブラウザで表示し、画像を右クリックして「画像の情報を表示」などを選択することにより、サーバー中の画像のパスやファイル名を表示することがあります。

画像のパスやファイル名がわからないときは、次の手順でFTPサーバーから画像ファイルをフォルダごとローカル環境にコピーし、差し替え対象の画像を探してください。

2. 画像をステージング環境のFTPサーバーから取得します。

必要な画像をステージング環境のFTPサーバーより取得し、ローカル環境にコピーしてください。動的画面で使用されている画像は次の場所にあります。

●画像のフォルダ構成(動的画面用)



3. 画像を編集します。

ヘッダー・フッター画像は、元の画像と同じ縦横サイズで作成すると更新が楽です。

横サイズは 950 ピクセルにしてください。

縦横サイズを変更した場合は、該当するヘッダー・フッターのhtmlや、CSS内の数値情報も変更しないと、画像が歪むことがあります。



4. 画像をステージング環境のFTPサーバーに登録します。

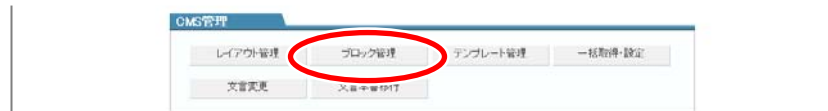
元の場所に同じ名前で上書き保存すると、ステージング環境に反映されます。

何らかの事情でファイル名を変更した場合は、該当するヘッダー・フッター用htmlや、CSS中の指定ファイル名も変更する必要がありますので、次ページ以降の手順に従ってください。

ヘッダー・フッター用htmlを修正する

ヘッダー・フッターのhtmlは、バックオフィスのCMSブロック編集画面で修正します。

1. バックオフィスにログインし、「CMS管理」の[ブロック管理]を押します。

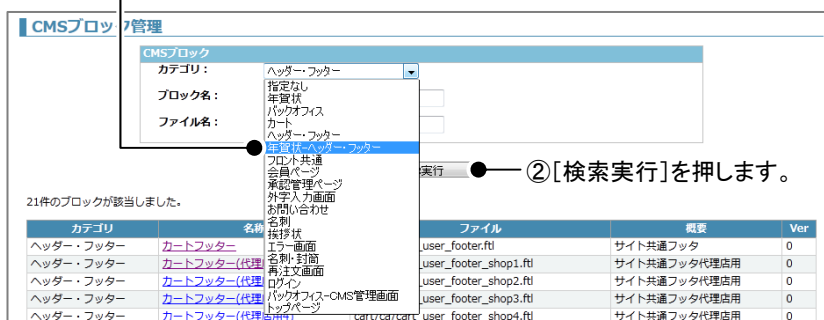


2. CMSブロック管理画面が表示されます。

ヘッダー・フッター用のブロックを選択するため、カテゴリを選択して検索します。
ここでは年賀状のヘッダー・フッターを検索します。

- ①カテゴリの[年賀状・ヘッダー・フッター]を選択します。

▶ あらかじめ調べたブロック名を入力して検索しても構いません。



- ❶ 年賀状用・喪中のはがき用 : [年賀状・ヘッダー・フッター]を選択します。
その他の画面用 : [ヘッダー・フッター]を選択します。

3. 検索されたブロックの一覧から、編集したいブロックを選択します。

ここではブロック名「年賀状ヘッダー」を選択します。

年賀状ヘッダー・フッター	喪中のはがきヘッダー(代理店4)	front/nenga/76000/mochu_header_shop4.ftl	喪中のはがきヘッダー代理店用	0
年賀状ヘッダー・フッター	年賀状フッター	front/nenga/75000/nenga_footer.ftl	年賀状フッター	0
年賀状ヘッダー・フッター	年賀状フッター(代理店1)	front/nenga/75000/nenga_footer_shop1.ftl	年賀状フッター代理店用	0
年賀状ヘッダー・フッター	年賀状フッター(代理店2)	front/nenga/75000/nenga_footer_shop2.ftl	年賀状フッター代理店用	0
年賀状ヘッダー・フッター	年賀状フッター(代理店3)	front/nenga/75000/nenga_footer_shop3.ftl	年賀状フッター代理店用	0
年賀状ヘッダー・フッター	年賀状フッター(代理店4)	front/nenga/75000/nenga_footer_shop4.ftl	年賀状フッター代理店用	0
年賀状ヘッダー・フッター	年賀状ヘッダー	front/nenga/75000/nenga_header.ftl	年賀状ヘッダー	0
年賀状ヘッダー・フッター	年賀状ヘッダー(代理店1)	front/nenga/75000/nenga_header_shop1.ftl	年賀状ヘッダー代理店用	0
年賀状ヘッダー・フッター	年賀状ヘッダー(代理店2)	front/nenga/75000/nenga_header_shop2.ftl	年賀状ヘッダー代理店用	0
年賀状ヘッダー・フッター	年賀状ヘッダー(代理店3)	front/nenga/75000/nenga_header_shop3.ftl	年賀状ヘッダー代理店用	0
年賀状ヘッダー・フッター	年賀状ヘッダー(代理店4)	front/nenga/75000/nenga_header_shop4.ftl	年賀状ヘッダー代理店用	0

- ❶ 編集したいヘッダー・フッターに応じたブロックを選択します。

ヘッダー用 ブロック名	フッター用 ブロック名
サイト共通ヘッダー	サイト共通フッター
カートヘッダー	カートフッター
お問い合わせ共通ヘッダー	
年賀状ヘッダー	年賀状フッター
喪中のはがきヘッダー	喪中のはがきフッター
Front_Popup_Header	Front_Popup_Footer

どの画面のヘッダー・フッターがどのブロックに対応するかは、別添資料の「**サイトデザイン編集領域**について(画面マップ).xlsx」の、「ヘッダー」シートと「フッター」シートを参照してください。

4. 選択したヘッダー・フッターのCMSブロック編集画面が表示されます。

①編集エリアに、このブロックのhtmlデータが表示されます。

トップページと同様、このエリアを直接編集したり、他のファイルからhtml文をコピー＆ペーストしたりします。

▶html中のCSS、
画像などの参照
パスは、ルート
(/)から始まる絶
対パスであるこ
とが必要です。

▶「ブロック名」は
変更しないでく
ださい。

[illegible]

②このブロックを使用している画面が一覧表示されます。

ヘッダー・フッターの場合、多数の画面で共用されています。編集すると、これらの画面に影響が及びます。

③変更を加えた場合、「更新」を押すと実際のサイトに反映されます。

反映しないときや、ただ内容を見ただけの場合は、そのまま最下部の[**ブロック検索へ戻る**]を押して、前の画面に戻ってください。

htmlデータの更新はこれで終わります。

CSSの変更も必要なときは、別途FTPにて登録します。なお、htmlデータはページの一部なので、新しいスタイルを適用するときは、htmlタグ中に直接スタイルを入力してしまう方法が簡単です。



ヘッダー・フッターのhtmlは、画面全体のhtmlの一部を行範囲で切り出したブロックです。<div>～</div>の構造などは、このブロック内で正しく完結するようにしてください。閉じタグのない要素や、閉じタグの余計な要素などがあると、最終的な動的画面が生成されるときに、異常な画面表示になってしまいます。

ヘッダー・フッター用CSSを編集する

ヘッダー・フッター用のCSSに変更が必要な場合は、FTPにてサーバーに登録します。



●システム用のCSSは、編集しないでください

CSSのクラスの追加や修正が必要なときは、下記のユーザーCSSに対して編集を行ってください。同じクラス名で定義を追加することになります。

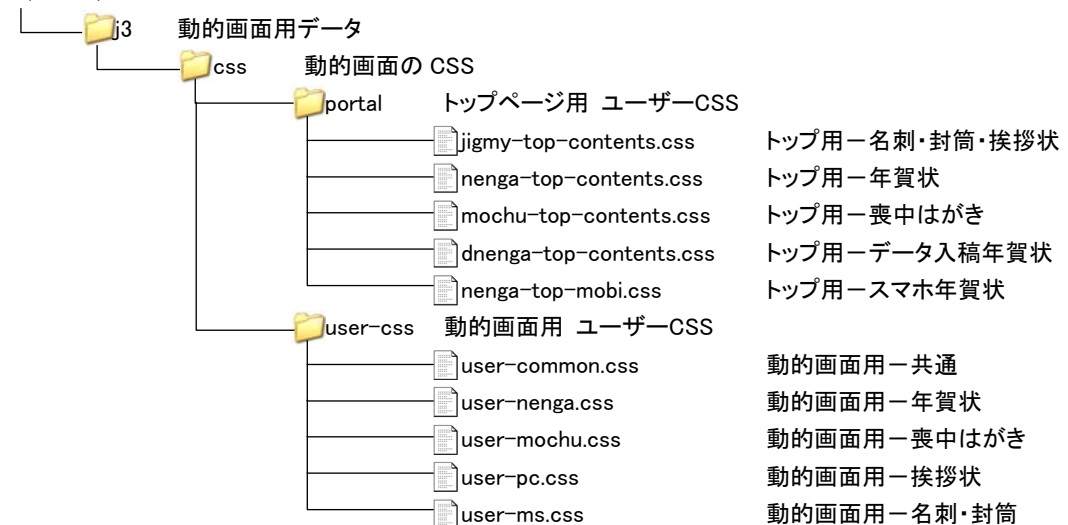
元のシステム用CSSは、弊社にて改修することがあるため、変更しないでください。

1. 現状のCSSを、ステージング環境のFTPサーバーから取得します。

現在サイトで使用されているCSSを、ステージング環境のFTPサーバーより取得し、ローカル環境にコピーしてください。

●ユーザーCSSのフォルダ構成

/(ルート)



2. ヘッダー・フッターに対応するユーザーCSSを編集します。

user-css フォルダ内のユーザーCSSは、初期状態で次の画面に割り当てられています。該当するCSSを編集してください。

ユーザーCSS	対応するヘッダー・フッターhtml
user-common.css	サイト共通・カート・お問い合わせ共通
user-nenga.css	年賀状
user-mochu.css	喪中はがき
user-pc.css	挨拶状
user-ms.css	名刺・封筒

3. 編集したCSSをステージング環境のFTPサーバーに登録します。

元の場所に同じ名前の上書き保存すると、ステージング環境に反映されます。

画面タイトル(title)、サイト説明文、キーワードを変更する

ブラウザに表示される画面のタイトルには、一般的に契約社様ごとのショップ名が使われるため、サイト公開前に忘れずに設定します。

昨年までサイトを公開していた場合も、タイトルに年号や干支が含まれている場合がありますので、更新を忘れないよう注意してください。

head 領域
title 要素

画面のタイトルは、htmlのhead領域にある **title 要素** に設定されています。title 要素は画面ごとに違うことがあるため、画面それぞれに設定が必要です。

description
keywords

なお、サイト説明文(description)や検索キーワード(keywords)も同じ領域に設定が可能です。

●動的画面のhead領域の一例

①画面タイトル(title 要素)

②検索キーワード(keywords)

③サイト説明文(description)

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Strict//EN" "http://www.w3.org/TR/xhtml1/...>
<html xml:lang="ja" xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" lang="ja">

<head>
  <title>年賀状作成</title>
  <meta name="keywords" content="年賀状" />
  <meta name="description" content="年賀状作成をオンラインで承り中!" />
</head>
```

▶ 実際に設定されている要素は、画面によって異なります。

1. 変更したいタイトルなどが、どのブロックに含まれているかを確認します。

別添資料「サイトデザイン編集領域について(画面マップ).xlsx」の、「画面一覧」シートを参照し、変更したい画面の title 要素を含むブロック名を確認してください。

i 検索キーワード、サイト説明文も画面タイトルと同じブロックにあります。

■例: お問い合わせトップ画面のタイトルを変更する場合

この画面のタイトルを含むブロック名 (InquiryTopHead)

ジグミーシステム導入において必ず確認・修正が必要な画面					
NO.	画面	レイアウト名(画面名)	編集可能ブロック		備考
	分類		ブロック名(HTML変更箇所)	修正可能な項目	
1.	お問い合わせフォーム	お問い合わせトップ	InquiryTopBody	お問い合わせフォームの例文/フォーム説明	
			InquiryTopHead	この画面のmetaタグや<TITLE></TITLE>	
お問い合わせ確認		InquiryConfirmBody	画面説明文、戻り先		
		InquiryConfHead	この画面のmetaタグや<TITLE></TITLE>		
3.		お問い合わせ完了	InquiryCompleteBody	画面説明文	
		InquiryUpHead	この画面のmetaタグや<TITLE></TITLE>		
			Front_Error_Include_Top	新規コンテンツの配置	

▶ 資料の改訂により、内容が変化することがあります。

CMSブロック編集画面で、このブロックのhtmlデータを画面に表示し、設定されている画面タイトルなどを編集します。

2. バックオフィスにログインし、「CMS管理」の[ブロック管理]を押します。



3. CMSブロック管理画面が表示されるので、編集するブロックを選択します。

あらかじめ、手順1でブロック名を調べてあるので、「ブロック名」の入力欄にブロック名を入力し(一部だけでも可)、検索します。

- ① 編集するブロックを選択するため、検索キーワードとしてブロック名を入力します。長いキーワードは途中でしか入力できませんが、入力の一部だけでも構いません。

▶ カテゴリを選択して絞り込んでも構いません。

カテゴリ	名称	ファイル	概要	Ver
サイト-お問い合わせ画面	InquiryTopHead	front/inquiry/iq_header.ftl	お問い合わせトップHEADタグ	0
サイト-お問い合わせ画面	InquiryTopHead_shop1	front/inquiry/iq_header_shop1.ftl	お問い合わせトップHEADタグ代理店用1	0
サイト-お問い合わせ画面	InquiryTopHead_shop2	front/inquiry/iq_header_shop2.ftl	お問い合わせトップHEADタグ代理店用2	0
サイト-お問い合わせ画面	InquiryTopHead_shop3	front/inquiry/iq_header_shop3.ftl	お問い合わせトップHEADタグ代理店用3	0
サイト-お問い合わせ画面	InquiryTopHead_shop4	front/inquiry/iq_header_shop4.ftl	お問い合わせトップHEADタグ代理店用4	0

- ③ 検索されたブロックが一覧表示されるので、編集したいブロックを選択します。
ここでは「サイト-お問い合わせ画面」の「InquireTopHead」を選択します。

4. 選択したブロックの編集画面が表示されるので、タイトルを編集します。

ヘッダー・フッターのhtmlを、この画面で確認・編集することができます。

- ① 編集エリアに、選択したブロックのhtmlが表示されます。

② <title>〜</title>タグに挟まれた部分が画面タイトルです。
内容を編集してください。

※同様に、設定されている keywords や description も編集可能です。

▶ 「ブロック名」は変更しないでください。

ブロック名 InquiryTopHead
ブロック名を変更すると、参照するレイアウトが存在する場合、表示できなくなります

カテゴリ サイト-お問い合わせ画面

概要 お問い合わせトップHEADタグ

更新

- ③ [更新]を押すと、実際のサイトに反映されます。

反映しないときや、ただ内容を見ただけの場合は、そのまま最下部の[<ブロック検索へ戻る]を押して、前の画面に戻ってください。



● 設定漏れに注意してください

画面タイトルは個別の画面ごとに存在するため、編集するブロック数はかなり多くなります。
漏れのないよう注意してください。

レジ・会員登録画面の利用規約を編集する

レジの最終確認画面と、会員登録の利用規約画面には、サイト利用規約が表示されます。
サイトオープン前に忘れずに編集してください。

修正は、CMSブロック編集画面にて行います。

●レジ-CA0300(最終確認)画面



ブロック名: Cart_ca0300_BodyTerms2

●会員登録-SF0501(利用規約)画面



ブロック名: Sf0501_Area

上記のブロック名は、別添資料「サイトデザイン編集領域について(画面マップ).xlsx」の、「画面一覧」シートに記載されています。念のためご確認ください。

1. バックオフィスにログインし、「CMS管理」の[ブロック管理]を押します。

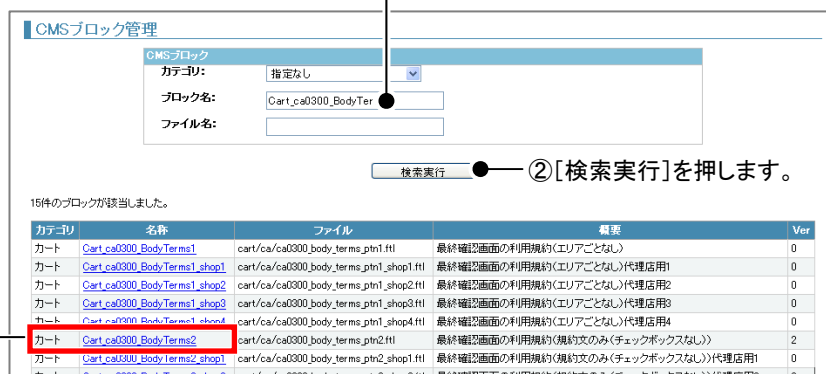


2. CMSブロック管理画面にて、編集するブロック名を選択します。

①検索キーワードとしてブロック名を入力します。

長いキーワードは途中までしか入力できませんが、検索用に使うだけなので、入力是一部だけでも構いません。

▶カテゴリを選択して絞り込んでも構いません。



③検索されたブロックが一覧表示されるので、編集したいブロックを選択します。

ここではレジの最終確認画面の利用規約を編集するため、
ブロック名称「Cart_ca0300_BodyTerms2」を選択します。

3. CMSブロック編集画面が表示されるので、利用規約部分を修正します。

利用規約はhtmlで入力されていますので、契約者様の利用規約の内容に書き換えてください。

編集中にタイムアウトする可能性があるため、内容を一度テキストファイル等にコピーして、ローカル環境で保存・編集することをお勧めします。編集が終わったら、再度この画面を表示して貼り付けます。

- ①編集エリアに、選択したブロックの html が表示されます。
- ②利用規約の文章部分のhtmlを編集してください。
※他に記入されている変数・キーワード類は変更しないでください。

CMSブロック編集

CMSブロックを編集できます。

ブロック名 : Cart.ca0300_BodyTerms2

カテゴリ : カート

バージョン : 2

```
<@$.i18n name="jp.co.ager
ja.jigmy.cart.resource.cart">
<!-- 規約同意チェック -->
<@$.hidden name="detail.termsCheck" value="true"/>

<!-- ↓ご利用規約エリア ここから -->
<h2>${cart.ca0300_sectiontitle_2}</h2>
<p class="sys_instruction0">${cart.ca0300_instruction2_2}</p>
<div class="terms">

<h2>★キレイ印刷株式会社「印刷通販サービス」★ ご利用規約</h2>

<h3>第1章 総則</h3>
<h4>第1条 規約の適用</h4>
<ul>
<li><i>（以下、「利用者」といいます。）と当社間の一切の関係に適用されます。</i>
<i>（以下、「本規約を補充するため、規約、規則、その他の定めを規定することができます。この場合、当該規約、規則、その他の定めは、本規約と同一の効力を有するものとします。</i>
<i>（以下、「各規定が本規定と異なっている部分には、各規定が優先するものとします。</i>

</ul>

<h4>第2条 本規約の変更等</h4>
<ul>
<li><i>（以下、「利用者の個別の了解を得ることなく本規約を変更することがあり、利用者は、この

```

ブロック名

Cart.ca0300_BodyTerms2

カテゴリ

カート

概要

最終確認画面の利用規約（規約文のみ（チェックボックスなし））

更新

Stack

Stackキー	Stack値	スコープ	編集	削除
新規作成				

制約

制約種別	制約値	反転	編集	削除
新規作成				

このブロックを参照しているレイアウト

カテゴリ	レイアウト名	Result	URL	テンプレート	概要
カート	CA0300	ca0300		cart.ca0300	最終確認画面

ブロック検索へ戻る

- ③[更新]を押すと、実際のサイトに反映されます。
- 反映しないときや、ただ内容を見ただけの場合は、そのまま最下部の[[ブロック検索へ戻る](#)]を押して、前の画面に戻ってください。

4. 同様に、会員登録画面の利用規約も修正します。

編集するブロックが画面ごとに別なので、漏れのないように修正してください。



●静的画面の利用規約も忘れずに修正してください

動画的画面のレジ・会員登録のほかに、静的画面にも利用規約画面が存在します。

※納品時の初期ファイル: /static/stinfo/html/cm004.html 利用規約画面

こちらにも忘れずに修正してください。

静的画面の編集方法は、次ページ以降で解説しています。

1.3 静的画面の作成

ジグミーシステムの大抵の画面は動的画面ですが、会社概要・プライバシーポリシーのように、おもにサイトの説明用のページとして、静的画面も用いられます。

静的画面のhtml・画像・CSSをサーバーから取得する

静的画面の場合、画像・CSSのほか、html自体もFTPサーバーに格納されています。そのままローカル環境にコピーして、編集や表示の確認が可能です。

納品時には次の8種類が初期登録されています。内容を必ず修正してご使用ください。

①企業情報



②特定商取引法による表示



③ご注文方法・動作環境



④発送方法・納期・お支払方法



⑤利用規約



⑥個人情報保護方針



⑦価格表

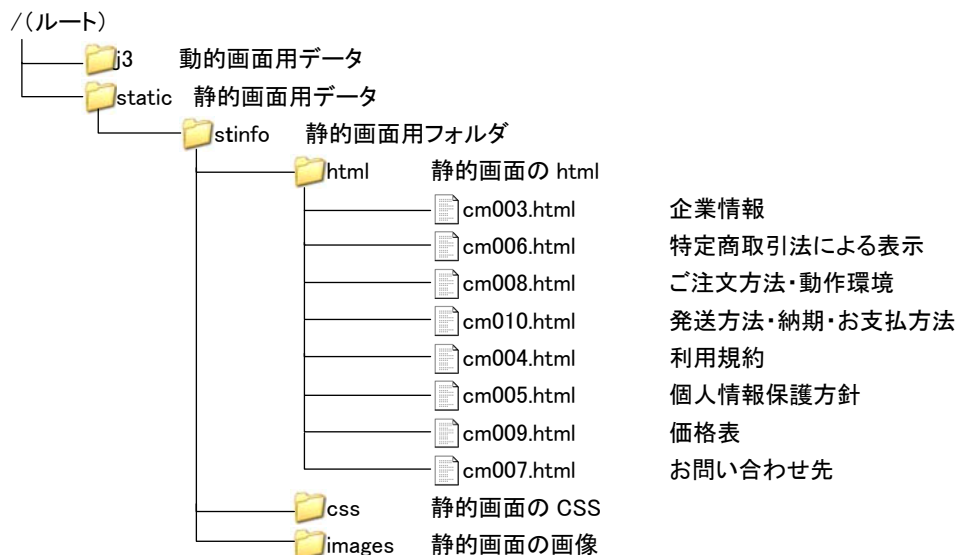


⑧お問い合わせ先



1. html・画像・CSSを、ステージング環境のFTPサーバーから取得します。

●静的画面のフォルダ構成



取得したhtml・画像・CSSは、元のフォルダ階層を維持したままローカル環境に置き、画面データを作成してください。

静的画面を編集・登録する

静的画面のhtml・画像・CSSをローカル環境に取得したら、次の要領で画面データを作成・編集してください。

1. html・画像・CSSを作成・編集してください。

静的画面は一般のホームページと同様、ローカル環境で自由に作成していただけます。

(1) 静的画面 html仕様

下記は初期登録されている8画面の仕様です。静的画面は1つずつ独立しており、他に影響することがないので、任意に変更していただくことが可能です。

- ・画面の幅 950 ピクセル
- ・データ形式 xhtml1.0 strict
- ・文字コード UTF-8(BOM なし・UTF-8N)

(2) 配置場所とリンクURL

- ・html・画像・CSSとも、サーバーの「/static/」以降の任意の場所に配置して構いません。任意のフォルダを作成しても構いません。

2. 編集が終わったら、ステージング環境のFTPサーバーにファイルを登録してください。

すぐにステージング環境に反映されるので、表示を確認してください。



● 静的画面には、ログインボックス、カート表記は配置できません

静的画面は単純なホームページ形式であり、プログラムの処理が介在できません。動的画面に配置されているような、ログインボックス・カート表記などの動的要素をコピーして貼り付けても、作動しませんので注意してください。

■ 補足: 修正を忘れやすい箇所について

サイトのオープンに際しては、動的画面・静的画面に対し、契約者様ごとに多数の修正が必要になります。

修正を忘れやすい箇所について列挙しましたので、参考にしてください。

■ 修正を忘れやすい箇所

・フッター等の Copyright 表記

・トップページの[お気に入りに追加]ボタンのリンク先

初期登録されているダミーURLのままになっていたり、ステージング環境のURLになっていたりすることがあります。

・プライバシーマークの画像

他サイトから仮にコピーしていた画像が残っているケースがあります。

・画像の Alt(代替)文字列

画像にマウスポインタを合わせると表示される Alt 文字列に、他サービスの表記や異なる画像の説明文が残っていることがあります。

・トラッキングスクリプト

他サイトから仮にコピーして html を作成された場合、元のサイトに設置されていた Google のトラッキングスクリプトや、特定のサイト用の記述が残っていることがあります。

・各種画像、文章のオリジナリティ

ハガキの画像などを他のサイトから仮にコピーして使用しているうち、それを忘れて公開してしまい、あとでトラブルになったというケースがあります。十分注意してください。

2

応用作業

動的画面にログインフォームなどを置いてカスタマイズする方法や、画面ごとに用意されている特別な編集領域の編集方法、表示文言の変更方法について解説します。

2.1 トップページのカスタマイズ

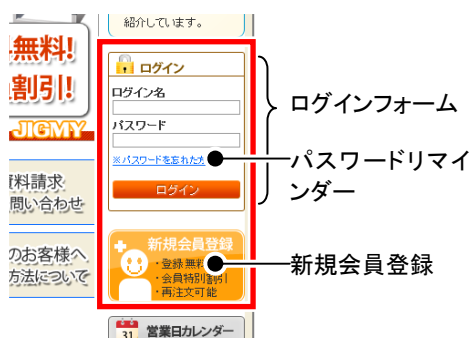
ログイン機能を設置する

トップページは既存のものを流用せず、ゼロから作成していただくこともできますが、会員機能を利用する場合は、ログインボックスの配置などに注意が必要です。

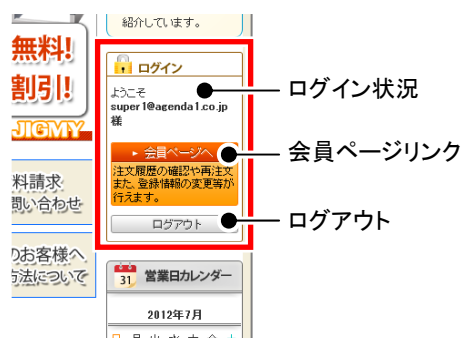
1. ログインボックスの設置例

会員機能を利用する場合、トップページにはログインボックスを配置するのが普通です。ログインボックスは、ログインを実行したあとは、ログインしたログイン名の表示やログアウトボタンの配置に変わるようにします。

●ログイン前



●ログイン後



htmlの記述例は次ページを参照してください。

2. htmlの記述例

ログイン前後の条件判断によって、ログインボックス部の表示が切り替わるようにします。

①ブロックの先頭のほうに、次の1行(<#assign jigmy=~)を追加します。

②の文よりも上方にあればよいのですが、1行目の「<!DOCTYPE～」の前にあると、作業用コンピューターでの表示が崩れることがありますので、その次の行に入れてください。

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Strict//EN" "http://www.w3.org/TR/xhtml1"
<#assign jigmy=JspTaglibs["/META-INF/jigmy-tags.tld"] />
<html xml:lang="ja" xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" lang="ja">
<head>
```

②ログインボックスを設置する箇所に、参考として次の文を追加します。

※説明のため、表示体裁は上の図とは異なります。

```
<!--<#if loginContext.userCd != "" && loginContext.userCd != "0"-->
<!--ログイン時-->
<div class="loginbox">
  <h2></h2>
  <div class="loginboxcontents clearfix">
    <div class="innerInputtext">
      ようこそ
      <p><@jigmy.userInfo name="LOGIN_NAME" />様</p>
    </div>
    <div class="innerButton">
      <a href="/member/m/sf0601"></a>
    </div>
    <div class="innerButton">
      <a href="/egate/logout"></a>
    </div>
  </div>
</div>

<!--<#else-->
<!--未ログイン時-->
<div class="loginbox">
  <h2></h2>
  <div class="loginboxcontents clearfix">
    <form action="/egate/auth/login" method="post">
      <div class="innerInputtext">
        <p>ログイン名</p>
        <input type="text" name="login">
        <p>パスワード</p>
        <input type="password" name="passwd">
        <span><a href="/member/m/sf0321">※パスワードを忘れた方</a></span>
      </div>
      <div class="innerButton">
        <input type="image" alt="ログイン" src="/j3/images/portal/nenga/memberBlock-loginBtn.png" name="name-btn">
      </div>
      <input type="hidden" name="rto" value="/nenga/" />
    </form>
  </div>
</div>
```

ログイン時の表示

非ログイン時の表示

戻り先を指定するときに追加(次ページ参照)

赤字の部分は機能的なコマンドやリンクなので、変更しないでください。作業用コンピューターで表示を確認すると、赤字の部分の一部がそのまま見えてしまいが、最終的なサーバー上では見えなくなります。

黒字の文言部分や修飾に関する部分は、作成するページの体裁に合わせて変更可能です。



●ログイン後の戻り先を指定したいとき

ログイン後に表示する画面や、ログアウト後の戻り先を指定することができます。

詳しくは、「ログイン後・ログアウト後の戻り先を設定する」<次ページ>を参照してください。

ログイン後・ログアウト後の戻り先を設定する

トップページにログイン機能を埋め込む場合、追加行を指定することによって、ログイン後にどの画面に戻るのかを指定することができます。

1. ログイン後の戻り先を指定する

ログインボックスの設置用のhtml(前ページ参照)に、戻り先指定用の行を追加します。

```
<div class="innerButton">
  <input type="image" alt="ログイン" src="/j3/~.png" name="name-btn">
</div>
<input type="hidden" name="rto" value="〇〇" />
</form>
</div>
</div>
```

ログインボタンの</div>の次、</form>の前に追加

〇〇の部分には、ログイン後の戻り先のURLを記入してください。

```
<input type="hidden" name="rto" value="/nenga/" />
```

ログイン後の戻り先のURL

i URLにはドメインを含まず、ドメインの次の「/」以下から記述してください。

https://www.jigmy.com/nenga/ に戻る場合 → /nenga/ と記述。

例: ログイン後、年賀状トップページに戻る場合

```
<input type="hidden" name="rto" value="/nenga/" />
```

例: ログイン後、喪中はがきトップページに戻る場合

```
<input type="hidden" name="rto" value="/mochu/" />
```

2. ログアウト後の戻り先を指定する

次のリンクをページ中に設置すると、ログアウトを行い、指定した画面に戻ることができます。画面のURLの指定方法は、ログインの場合と同じです。

```
<a href="/egate/logout?rto=/nenga/">ログアウトする</a>
```

ログアウト後の戻り先のURL

ログアウト用リンクはトップページだけではなく、任意の動的画面・静的画面に設置可能です。

■ カート表示を設置する

新たに作成するトップページなどに、現在のカート情報を埋め込むことができます。

1. カート表示の設置例



2. htmlの記述例

- ①ブロックの先頭のほうに、次の前処理文を追加します。 ※ログインボックスと同じものです。

作業用コンピューターで確認する際、1行目の「<!DOCTYPE～」の前に入れる则表示が崩れることがありますので、その次の行に入れてください。

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Strict//EN" "http://www.w3.org/TR/xhtml1
<#assign jigmy=JspTaglibs["/META-INF/jigmy-tags.tld"] />
<html xml:lang="ja" xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" lang="ja">
<head>
```

- ②カート表示を設置する場所に、参考として次のキーワードを含む文を追加します。

※説明のため、表示体裁は上の図とは異なります。

- ▶赤字の部分は機能的なコマンドやリンクなので、変更しないでください。

- ▶ 黒字の文言部分や修飾に関する部分は、作成するページの体裁に合わせて変更してください。

[illegible]

作業用コンピュータのブラウザで確認すると、赤字のコマンド部分がそのまま表示されてしまいますが、サーバーに登録して実際のURLからアクセスすると、不要な部分は見えなくなります。



●カート表示のキーワードの意味

ブロックの先頭に、前処理文`<#assign jigmy=JspTaglibs["/META-INF/jigmy-tags.tld"] />`が入っていると、次のキーワードを入れた位置に、該当する数値が挿入されます。

- ### ①カート内の商品数

キーワード:<@jigmy.userInfo name="CART QUANTITY"/>

- ②カート中の合計価格

キーワード:<@jigmy.userInfo name="CART PRICE"/>

販売中の年賀状・喪中はがき商品の、上位販売数デザインをトップページに一覧表示することができます。内容は毎日自動的に更新されます。

1. 人気デザイナー一覧の設置例



2. htmlの記述例

①人気デザイナー一覧を設置する箇所に、参考として次の文を追加します。

※説明のため、表示体裁は上の図とは異なります。

▶ 赤字の部分は機能的なコマンドやリンクなので、変更しないでください。

▶ 黒字の文言部分や修飾に関する部分は、作成するページの体裁に合わせて追加変更してください。

```
<!-- 人気デザインここから -->
<#assign flib2=JspTaglibs["/META-INF/aggregate.tld"] />
<div>
  <@flib2.aggregateList display="6" servicecd="75000" dispType="pc" />
</div>
<!-- 人気デザインここまで -->
```

前処理のために必要です

人気デザイン表示行

この部分が人気デザイナーの一覧表示に置き換わります。
設定方法は下記②を参照してください。

作業用コンピューターのブラウザで確認すると、赤字のコマンド部分がそのまま表示されてしまいがちですが、サーバーに登録して実際のURLからアクセスすると、余分な部分は見えなくなります。

②人気デザイン表示行のパラメーター

人気デザイナーの表示数(1位から指定した数まで、同順位含む)、対象商品(年賀状または喪中はがき)、対象端末(PC用またはスマホ用)を設定することができます。

```
<@flib2.aggregateList display="6" servicecd="75000" dispType="pc" />
```

display: 表示数

1位からの表示個数を数字で指定

servicecd: 対象商品

年賀状=75000、喪中はがき=76000

dispType: 画面種類

PC用(通常)ページ=pc
スマホ用ページ=mobi



●宛名印刷も人気デザイナー一覧に表示されます

宛名印刷をご利用の場合は、人気デザイナーの中に宛名印刷の宛名デザインも含まれます。印刷数に応じてランキング集計されるため、かなり上位に宛名デザインが表示される傾向にあります。宛名印刷をご利用の場合、この点ご了解いただきますようお願いいたします。

デザイン選択画面へリンクする

トップページから、年賀状などの各種デザインカテゴリ(ジャンル)別にリンクを張る方法です。
あらかじめバックオフィスで登録したデザインカテゴリの番号(カテゴリコード)を調べておく必要があります。

1. デザイン選択画面へのリンク例



2. リンクの記述方法

デザイン選択画面へのリンクは通常の<a>～タグで行います。
下表の青字の部分には、初期表示するジャンルのカテゴリコードを指定します。

年賀状	このジャンルを見る
喪中はがき	このジャンルを見る
挨拶状	このジャンルを見る
名刺	このジャンルを見る
封筒	このジャンルを見る

表示するジャンルのカテゴリコードを指定

カテゴリコードは、商品マスターの登録内容によって変わります。カテゴリコードを確認するには、「補足：カテゴリコード・カタログコードの確認について」<P.46>を参照してください。



●ジャンル(カテゴリ)を指定せずデザイン選択画面を表示する

「?categorycd=(カテゴリコード)」の部分を省略すると、カテゴリを指定せず、全デザインを表示してデザイン選択画面を表示することができます。しかし表示数が膨大となり、繁忙期にはサーバーの負荷が集中して表示されなくなる恐れがありますので、なるべく上記のようにジャンルで絞って表示してください。

例：年賀状をすべて表示

[年賀状一覧へ](/nenga/nc0350.75000)

途中保存されているデザインを選択して開始するための、「作製途中から選択」画面にリンクすることができます。この画面はデザイン選択画面の別タブのような構成になっています。

1. 途中保存画面へのリンク例



2. リンクの記述方法

途中保存画面へのリンクは通常の<a>～タグで行います。
この際、リンク先URLと、対象商品のサービスコードを指定します。

①年賀状注文の場合

途中保存したデザインを選ぶ

----- 年賀状のサービスコード 75000

②喪中はがきの場合

途中保存したデザインを選ぶ

----- 喪中はがきのサービスコード 76000



●途中保存画面へのリンクには、ログインが必要です

ログインされていない状態で、途中保存画面へのリンクを選択すると、一度ログイン画面が表示されます。リンクの設置の際には、「ログインされていない場合は、ログイン画面が表示されます」等の注意書きを一緒に記述するとよいでしょう。

年賀状と喪中はがきでは、トップページから特定のデザインの文字入力画面に直接リンクすることができます。あらかじめ、バックオフィスで登録したデザインの番号(カタログコード)を調べておく必要があります。

i 名刺・封筒・挨拶状では、文字入力画面に直接リンクすることはできません。

1. 文字入力画面へのリンク例

年賀状トップページ 個別のデザインのサムネイルすべてにリンクが設定されている



文字入力画面



直接、文字入力画面にリンクする

2. リンクの記述方法(文字入力画面への場合)

文字入力画面へのリンクは、通常の<a>〜タグで行います。

この際、リンク先URLと、選択するデザインのカタログコードを指定します。

①年賀状注文の場合

このデザインを選択

選択するデザインのカタログコード

②喪中はがきの場合

このデザインを選択

選択するデザインのカタログコード

デザインのカタログコードは、マスターの登録内容によって変わります。カタログコードを確認するには、「補足:カテゴリーコード・カタログコードの確認について」<P.46>を参照してください。

3. リンクの記述方法(写真年賀状画面への場合)

写真年賀状の場合、文字入力画面ではなく、写真貼り付け画面へリンクさせます。
リンク中の画面番号が異なる以外は、文字入力画面へのリンクと同じです。

```
<a href="/nenga/nc0500.75000?designcd=1000001515">このデザインを選択</a>
```

選択するデザインのカatalogコード

写真貼り付け画面(nc0500)

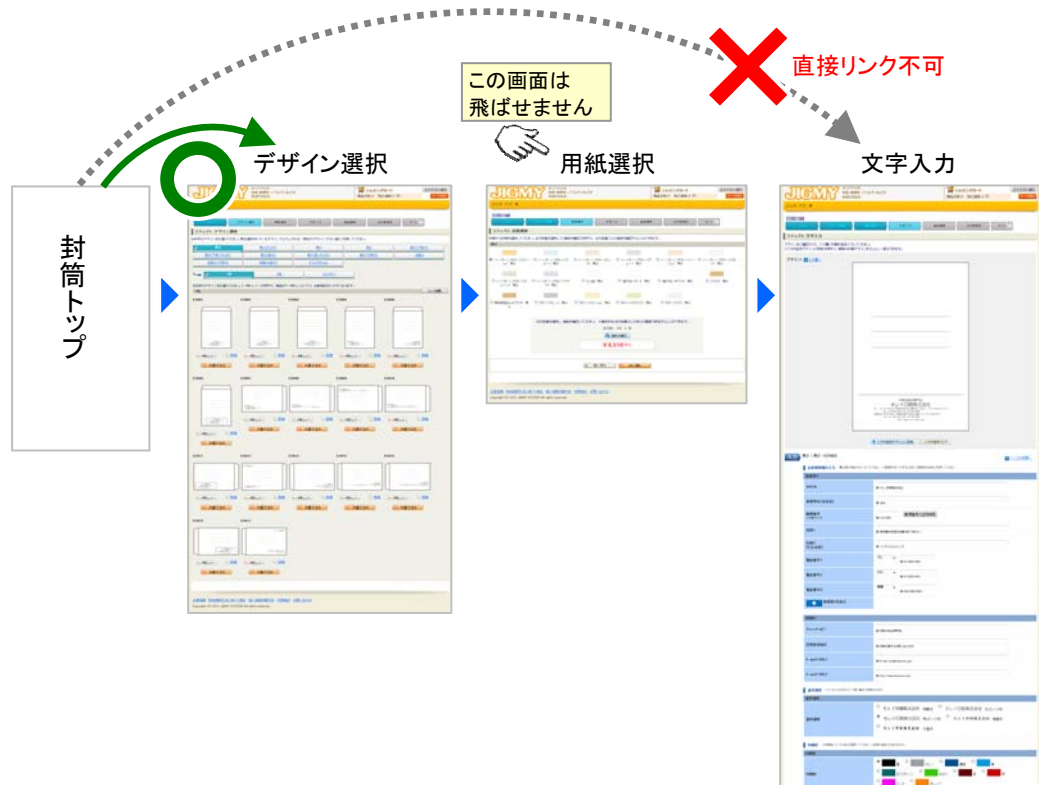
※文字入力画面は nc0550



●名刺・封筒・挨拶状では、文字入力画面にリンクすることはできません

文字入力画面に直接リンクできるのは、年賀状と喪中がきのみです。その他の商材では、文字入力画面の前に用紙選択画面が存在するため、そこを飛ばして文字入力画面にジャンプすることができないためです。

例: 封筒の場合(名刺・挨拶状も同様)



補足:カテゴリコード・カタログコードの確認について

各種リンク先の指定のために利用する、デザインジャンルの番号(カテゴリコード)や、デザイン自体の番号(カタログコード)を確認する方法について解説します。

1. バックオフィスにログインし、トップページの[商品マスター管理]を押します。



2. サービスマスター一覧画面が表示されます。

年賀状サービスのコードを調べるため、「年賀状」の右端の[選択]を押します。

サービスマスター一覧						
サービスコード	サービス名	取扱商品タイプ	開始日	終了日	状態	
10000	名刺	デザイン商品	2012/01/02 00:00	2023/01/01 00:00	有効	選択
10001	企業名刺	デザイン商品	2012/01/26 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
50600	丸型印	デザイン商品	2011/10/20 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
70000	年賀状	デザイン商品	2010/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
75000	年賀状	デザイン商品	2011/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
90000	サイン・サインカード	デザイン商品	2011/01/11 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
9	テストサービス	デザイン商品	2012/01/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択

「年賀状」の[選択]を押します。

3. 商品マスター管理トップ画面が表示されます。

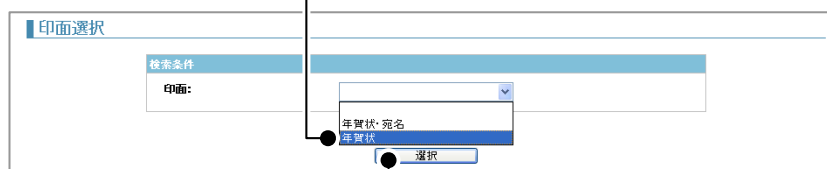
[デザインカテゴリ管理(サービス単位)]を押します。



▶隣の[デザインカテゴリ管理(デザイングループ単位)]とは異なりますのでご注意ください。

4. 印面選択画面が表示されるので、「年賀状」を選択します。

- ①[年賀状]を選択します。



- ②[選択]を押します。

▶ほかに「年賀状・宛名」などの印面が登録されている場合があります。

5. カテゴリ画面が表示されます。

登録されているカテゴリと、該当するカテゴリコードを確認できます。

順番	カテゴリコード	カテゴリ名	開始日	終了日	状態	選択
10	10000000295	個人用モノクロ	2012/05/01 00:00	2099/12/29 00:00	有効	<input checked="" type="radio"/>
20	10000000296	会社用モノクロ	2012/05/01 00:00	2099/12/29 00:00	有効	<input type="radio"/>
30	10000000297	個人用カラー	2012/05/01 00:00	2099/12/29 00:00	有効	<input type="radio"/>

登録されているカテゴリ名とカテゴリコード

6. 次はカテゴリに登録されている個別のデザインを確認します。

確認するデザインカテゴリの、[↓]を押します。

▶ デザインカテゴリは階層構造になっていることがあります。[↓]を押すと下位の階層が表示されるので、同様に繰り返して目的の階層を選択します。

順番	カタログコード	カタログ名	開始日	終了日	状態	選択
10	10000000295	個人用モノクロ	2012/05/01 00:00	2099/12/29 00:00	有効	<input checked="" type="radio"/>
20	10000000296	会社用モノクロ	2012/05/01 00:00	2099/12/29 00:00	有効	<input type="radio"/>
30	10000000297	個人用カラー	2012/05/01 00:00	2099/12/29 00:00	有効	<input type="radio"/>

登録されているデザインのデザイン名(カタログ名)と、カタログコードを確認できます。

順番	カタログコード	カタログ名	開始日	終了日	状態	選択
1	1000001411	AP03	0024/05/01 00:00	8010/12/31 00:00	有効	<input type="button" value="一覧から削除"/>
2	1000001412	AP04	0024/05/01 00:00	8010/12/31 00:00	有効	<input type="button" value="一覧から削除"/>
3	1000001414	CP02	0024/05/14 00:00	8010/12/31 00:00	有効	<input type="button" value="一覧から削除"/>

登録されているデザインのカタログ名とカタログコード

2.2 動的画面のカスタマイズ

動的画面の編集領域を編集する

動的画面ではヘッダー・フッター部分に変更可能な領域ですが、画面によっては他にも編集可能な領域が用意されています。

編集領域の種類について

1. 注文工程画面の編集領域（インクルード領域）

インクルード領域

注文工程画面（デザイン選択～カートに入れる前）では、ヘッダー直下とフッター直上に、インクルード領域と呼ばれる編集領域が用意されています。

上部のインクルード領域には、画面のタイトルとステップガイド表示も入力されています。

①インクルード領域（上）

▶ インクルード領域があるのは注文工程画面のみです。カートやレジ画面にはありません。ただし、次ページのような特別な領域があります。



②インクルード領域（下）

年賀状のデザイン選択画面に限り、ジャンルボタンの上にもインクルード領域があります。ジャンルボタンを自由にデザインして配置したいときなどに利用できます。

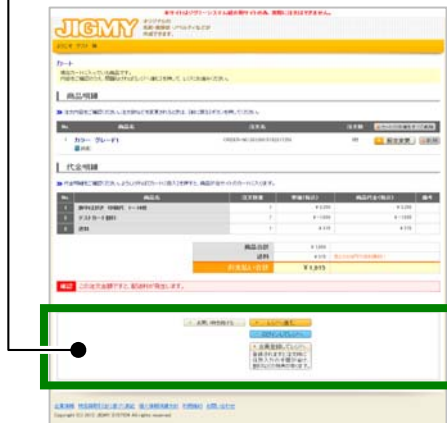
③デザインカテゴリ用インクルード領域



2. 注文工程画面以外の編集領域

注文工程以外でも、画面ごとの編集領域が用意されていることがあります。

例: カートの編集領域



例: 問い合わせフォームの編集領域



このほかにも多数の画面に個別の編集領域があります。

いずれの編集領域も、CMSブロック編集画面で編集することができます。

編集領域のhtmlを編集する

1. 編集領域のブロック名を調べます。

あらかじめ、次の別添資料を参照してブロック名を確認してください。

①「サイトデザイン編集領域について(画面マップ).xlsx」

動的画面で編集可能なブロック名について記載されています。「画面一覧」シートにブロック名の一覧があります。

②「画面遷移図.xlsx」

サイト内のすべての動的画面のサンプル画と、画面ごとに特別に用意されている編集領域の場所が図示されています。

2. CMSブロック編集画面を表示し、該当するブロックを編集します。

詳しくは「補足: CMSブロック編集画面について」<P.13>を参照してください。

編集領域のhtmlは、ヘッダー・フッター等と同様、画面の途中に挿入されます。スタイルを設定するときは、下の例のようになるべくhtml中に直接記入してください。

```

```



●インクルード領域のステップガイドやタイトルに注意してください

インクルード領域(上)には、初期状態でステップガイドのサンプルと、ページタイトルが登録されています。この部分を削除すると、それらが表示されなくなりますので注意してください。

●編集領域であっても、部分的に編集禁止の行があります

編集領域の中にも、システムで使用するキーワード等が設定されていることがあります。編集・削除すると動作に影響が出ることがあります。編集領域内に編集禁止のコメントがある場合は、その行を編集しないよう注意してください。

システム領域のテキストを編集する

システム領域

編集領域と異なり、動的画面のシステム領域は自由に編集することができません。しかし、一部の文言のテキスト(文字列)の中には、部分的に編集できる箇所が用意されています。



この機能は、従来開発者向けに提供されていた機能を、契約者様向けに開放したものです。そのため、画面中のテキスト箇所の指定位置などが内部的な名称になっており、目的のテキストを変更するために試行錯誤が必要な場合もありますのでご了承ください。また、変更を取り消すことはできませんので十分注意してください。

1. ステージング環境のバックオフィスにログインし、「CMS管理」の[文言変更]を押します。



2. テキスト編集画面が表示されます。
編集可能な文言を探し、文字列を編集してください。

- ①「編集領域選択:」のリストから、編集する画面ジャンルを選択し、おおまかに絞り込んでください。

システム生成領域のテキスト編集

システムで生成しているHTMLの編集ができない領域のテキストを編集します。
HTMLの利用が可能です。(但し、スクリプトをご利用いただくことは出来ませんのでご注意ください)
一覧に表示されている「画面名」をもとに文字列を編集して下さい。

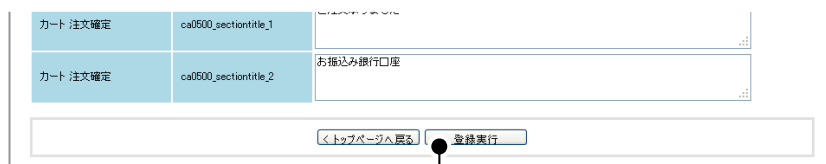
[< トップページへ戻る](#)

編集領域選択: カート

画面名	変数名	画面表示文字列(HTML利用可)
カート	ca0100_instruction0_1	注文内容をご確認ください。注文数などを変更される場合は、[設定変更]を押してください。
カート	ca0100_instruction0_2	代金明細をご確認ください。よろしければ[レジへ進む]を押してください。
カート	ca0100_instruction0_3	現在カートに入っている商品です。 内容をご確認のうえ、間違なければ[レジへ進む]を押して、レジにお進みください。
カート	ca0100_sectiontitle_1	商品明細
カート	ca0100_sectiontitle_2	代金明細
カート お届け方法選択	ca0200_delivery_cd_ass	指定した住所へお届け
カート お届け方法選択	ca0200_delivery_cd_multi	複数の配達先を選択する

▶「変数名」の先頭部分が、表示された画面のURLに関連していることがあるので、そちらも参考に対照の画面を選択してください。

- ②画面名と実際のサイトの画面表示を手がかりに、変更対象の文字列を選択し、内容を編集してください。



- ③編集したら[登録実行]を押します。
変更しないとき(キャンセルするとき)は、[< トップページへ戻る]を押してください。

■トラッキングスクリプトを登録する

サイトのアクセス解析のために、所定のトラッキングスクリプトをすべての画面に埋め込むよう、指定されることがあります。動的画面に埋め込む場合は、CMSブロック編集画面を使用します。

1. head タグ内への埋め込みを指定された場合

head タグ内への埋め込みを指定された場合は、共通 HEAD タグというブロックに配置します。ここはCSSファイルなどが定義されているブロックです。

	共通HEADタグ ブロック名	おもな影響する画面
①	サイト共通 HEAD タグ	お問い合わせフォーム、商品詳細
②	カート共通 HEAD タグ	カート、レジ
③	会員ページ共通 HEAD タグ	会員ページ、パスワード再発行、会員登録、ログイン
④	年賀状共通 HEAD タグ	年賀状の注文工程
⑤	喪中共通 HEAD タグ	喪中はがきの注文工程
⑥	挨拶状共通 HEAD タグ	挨拶状の注文工程
⑦	名刺共通 HEAD タグ	名刺の注文工程
⑧	封筒共通 HEAD タグ	封筒の注文工程

▶「補足：CMSブロック編集画面について」<P.13>を参照してください。

CMSブロック編集画面を表示し、上記のブロック名を指定して編集してください。

例として年賀状サイトなら、上記①～⑤の5つのブロックに埋め込めば、すべての動的画面に反映されます。

それぞれのブロックが影響する画面の詳細については、別添資料の「サイトデザイン編集領域について(画面マップ).xlsx」の「共通 HEAD タグ」シートを参照してください。

●ブロック「年賀状共通 HEAD タグ」に埋め込んだ例

```
<head>
  <title>年賀状作成</title>
  <meta name="keywords" content="年賀状" />
  <meta name="description" content="年賀状作成をオンラインで承り中!" />
  <!--スマホ用 css 設定-->
  <#if userAgent! == "Mobile">
    <link type="text/css" rel="stylesheet" href="/j3/css/nenga/mobi.css" />
  <#else>
  <!--PC サイト用 css 設定-->
  <link type="text/css" rel="stylesheet" href="/j3/css/common.css" />
  <link type="text/css" rel="stylesheet" href="/j3/css/nenga/header-footer.css" />
  <link type="text/css" rel="stylesheet" href="/j3/css/nenga/nenga.css" />
  <link type="text/css" rel="stylesheet" href="/j3/css/nenga/include-area.css" />
  <link type="text/css" rel="stylesheet" href="/j3/css/nenga/list-b.css" />
  </#if>

  <script type="text/javascript">
    var _gaq = _gaq || [];
    _gaq.push(['_setAccount', 'UA-XXXXX-X']);
    _gaq.push(['_trackPageview']);
    (function() {
      var ga = document.createElement('script'); ga.type = 'text/javascript'; ga.async = true;
      ga.src = ('https:' == document.location.protocol ?...
      var s = document.getElementsByTagName('script')[0]; s.parentNode.insertBefore(ga, s);
    })();
  </script>

</head>
```

埋め込みを指定されたスクリプト例

2. ページ末尾への埋め込みを指定された場合

ページ末尾への埋め込みが必要な場合は、年賀状フッター等のフッター領域に埋め込みます。必要に応じて、年賀状フッター・喪中はがきフッター・カートフッター・サイト共通フッター等のそれぞれに埋め込みます。

「ヘッダー・フッター用 html を修正する」<P.27>を参照してください。

	フッター用 ブロック名	おもな影響する画面
①	サイト共通フッター	年賀状・喪中はがき以外の注文工程、会員ページ、ログイン
②	カートフッター	カート、レジ
③	年賀状フッター	年賀状の注文工程
④	喪中はがきフッター	喪中はがきの注文工程

どの画面のフッターがどのブロックに対応するかは、別添資料の「**サイトデザイン編集領域**について(画面マップ).xlsx」の「フッター」シートを参照してください。

3. 特定ページへの埋め込みを指定された場合

注文が成約したかどうかを検出するコンバージョンスクリプトのように、特定の画面(注文確定画面)にだけスクリプトの埋め込みが必要なことがあります。

このようなときは、個別の動的画面に設定できる、画面タイトルやキーワード用のブロックを利用します。「**画面タイトル(title)、サイト説明文、キーワードを変更する**」<P.30>を参照してください。



●body 要素外の下側への埋め込みはできません

フッターを利用してスクリプトを設置する場合、必ず</body>タグの内側(上方)に配置されます。もし、</body>タグの下側に配置するように指定された場合は、まったく同じように配置することはできませんのでご了承ください。

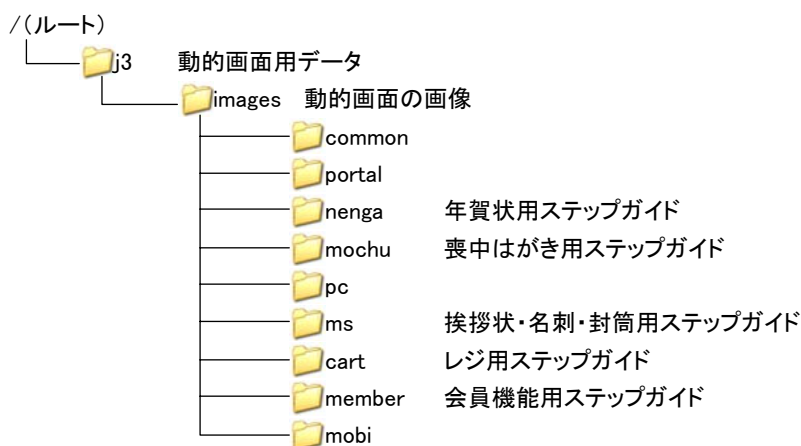
ただし、</body>タグの下に埋め込んだ場合との行位置の差はわずかですので、事実上スクリプトの動作結果には影響がありません。

補足:ステップガイドの画像について

注文工程画面では、画面上部にステップガイドが表示されます。これらはインクルード領域の中に初期登録されています。条件によって表示が制御されているため、ステップガイドのhtml自体の変更は困難ですが、背景画像を差し替えて変化を付けていただくことは可能です。



ステップガイドの画像は、FTPサーバーの動的画面用の画像フォルダにあります。



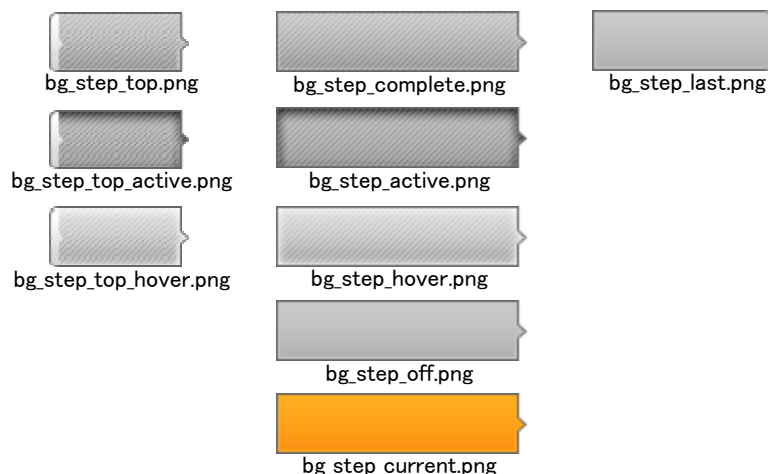
該当するフォルダをFTPサーバーからローカル環境にコピーし、内容を調べて該当ファイルを編集してください。

変更の際は、それぞれの画像を同じファイル名・同じ縦横サイズで置き換えてください。

1. 年賀状用・喪中・はがき用ステップガイド

両端と中央部があり、それぞれ選択状態に応じて複数のファイルがあります。

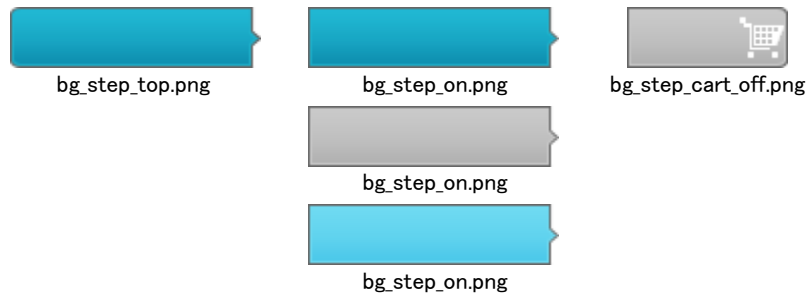
年賀状用: /j3/images/nenga/ 喪中・はがき用: /j3/images/mochu



2. 挨拶状・名刺・封筒用ステップガイド

挨拶状・名刺・封筒商材のステップガイドは、同じ画像が共用されています。
両端と中央部があり、それぞれ選択状態に応じて複数のファイルがあります。

/j3/images/ms/



3. レジ用ステップガイド

レジの画面ごとに1枚ずつの画像があります。

/j3/images/cart/

stepguideS1.png	カートトップ	配送方法選択	支払い方法選択	注文内容の確認	注文確定
stepguideS2.png	カートトップ	配送方法選択	支払い方法選択	注文内容の確認	注文確定
stepguideS3.png	カートトップ	配送方法選択	支払い方法選択	注文内容の確認	注文確定
stepguideS4.png	カートトップ	配送方法選択	支払い方法選択	注文内容の確認	注文確定

4. 会員機能用ステップガイド

会員登録行程の画面ごとに1枚ずつの画像があります。

/j3/images/member/

memberStep-501.png	規約承認	登録内容入力	入力内容確認	登録完了
memberStep-502.png	規約承認	登録内容入力	入力内容確認	登録完了
memberStep-503.png	規約承認	登録内容入力	入力内容確認	登録完了
memberStep-504.png	規約承認	登録内容入力	入力内容確認	登録完了

年賀状・喪中はがきのデザイン選択画面(NC0350)に限り、システム領域中の1カ所に特殊なインクルード領域があり、編集のうえ使用することができます。

年賀状(喪中)デザインカテゴリインクルード領域の使用例



標準のジャンル表示(デザインカテゴリ表示)

1. CMSブロック編集画面を表示します。

ブロック名 年賀状の場合: Nc0350_CategoryInc_年賀状
喪中はがきの場合: Nc0350_CategoryInc_喪中はがき

詳しくは「補足:CMSブロック編集画面について」<P.13>を参照してください。

2. 内容を編集します。

①先頭の1行は削除しないでください。

```
<#-- ↓オリジナルデザインカテゴリ領域 ここから -->
<#assign jigmy=JspTaglibs["/META-INF/jigmy-tags.tld"] />
<div></div>
<#-- ↑オリジナルデザインカテゴリ領域 ここまで -->
```

②この<div>～</div>の間に追加分を挿入してください。 ※改行等は自由にして構いません。

div の間に3行追加した様子

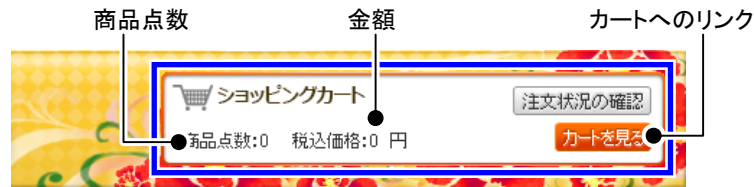
```
<#-- ↓オリジナルデザインカテゴリ領域 ここから -->
<#assign jigmy=JspTaglibs["/META-INF/jigmy-tags.tld"] />
<div>
  
  <a href="/nenga/nc0550.75000?designcd=1000001411">絶対おすすめ</a>
  <a href="/nenga/nc0550.76000?designcd=1000001601">喪中はがきはこちら</a>
</div>
<#-- ↑オリジナルデザインカテゴリ領域 ここまで -->
```

各デザインやデザインジャンルのリンク先の指定方法については、「デザイン選択画面へリンクする」<P.42>、「文字入力画面・写真貼り付け画面へリンクする」<P.44>を参照してください。

補足: 動的画面のカート表示について

動的画面のヘッダー等に、現在のカート情報を埋め込むことができます。
方法はトップページの場合と同様です。

1. カート表示の設置例



2. htmlの記述例

▶「補足：CMSブロック編集画面について」〈P.13〉を参照してください。

CMSブロック編集画面を表示し、カート表示を設置するヘッダーのブロックに、参考として次のキーワードを含む文を追加します。

※説明のため、表示体裁は上の図とは異なります。

前処理文 この1行をブロックの先頭のほうに必ず入れます。

[illegible]

▶赤字の部分は機能的なコマンドなので、変更しないでください。

▶ 黒字の文言部分や修飾に関する部分は、作成するページの体裁に合わせて変更してください。

作業用コンピューターのブラウザで確認すると、赤字のコマンド部分がそのまま表示されてしまいますが、サーバーに登録して実際の URL からアクセスすると、余分な部分は見えなくなります。



●カート表示のキーワードの意味

ブロックの上方に、前処理文<#assign jigmy=JspTaglibs["/META-INF/jigmy-tags.tld"] />が入っていると、次のキーワードを入れた位置に、該当する数値が挿入されます。

①カート内の商品数

キーワード:<@jigmy.userInfo name="CART QUANTITY"/>

②カート中の合計価格

キーワード:<@jigmy.userInfo name="CART_PRICE"/>

●カートへのリンク(～)の注意点

カートへのリンクが選択されると、例えば年賀状を作成中の画面から、カート画面に直接ジャンプしてしまいます。そのような操作をされても問題ないか、考慮のうえ設置してください。また、カート〜レジ画面(カート用ヘッダー)には、カート表示は設置しないのが普通です。

ジグミー(R) 画面編集ガイド

●発行日

2013 年 8 月 6 日 第 8 版

●発行者

株式会社アジェンダ